

# 2020年度第2四半期決算説明会

2020年8月11日  
楽天株式会社



# 連結業績

# Q2/20 決算ハイライト

- 連結売上収益：前年同期比 +13.4%
- グローバル流通総額：前年同期比 +12.6%
- 国内EC流通総額：前年同期比 +15.2%
  - ショッピングEコマース流通総額\*：前年同期比 +48.1%
- GAAP営業利益：OverDrive 売却益計上により33億円
  - Non-GAAP営業利益：モバイル事業と物流事業への投資により-326億円
- 楽天エコシステムの多様なビジネスモデルにより、成長を牽引
  - フィンテック：売上収益は前年同期比 +19.5%、 Non-GAAP営業利益は前年同期比+24.2%と堅調に推移
  - 楽天トラベルなど新型コロナウイルスの影響を受けている事業は徐々に回復基調へ
- モバイルビジネス： 契約申し込み数100万回線を突破

\* ショッピングEコマース=楽天市場 + 1st パーティ (ファッション, ブックス, Rakuten24 (ダイレクト), ネットスーパー + オープンEC (Rebates, チェックアウト) + ラクマ

# Q2/20 ビジネスサマリー

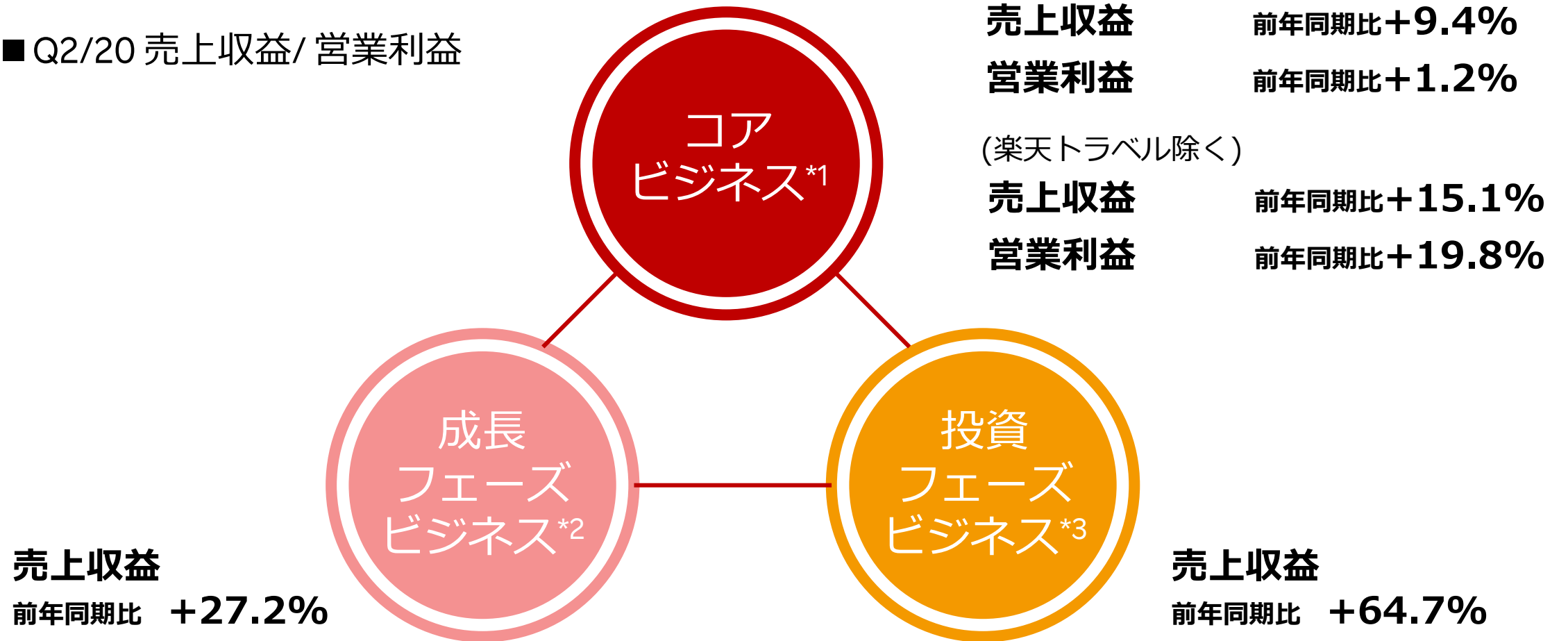
1. コロナ禍における力強い事業成長
2. EC需要の高まりに向けた取り組み
  - 消費者行動の変化
  - 物流強化とサービス向上にむけた取り組み
3. モバイルビジネスにおける堅調な顧客獲得
4. RCP (Rakuten Communications Platform) 戦略
5. 楽天エコシステムの強み

The Rakuten logo is displayed in a bold, red, sans-serif font. A red horizontal line is positioned beneath the letters 'u' and 't', extending from the left side of the 'u' to the right side of the 't'.

# 1. コロナ禍における力強い事業成長

# 将来の成長に向けた戦略

## ■ Q2/20 売上収益/ 営業利益



\*1 楽天市場、楽天トラベル、Rakuten Rewards (Ebates)、楽天カード、楽天銀行、楽天生保等を含む

\*2 C2C, ファースト・パーティー事業等を含む

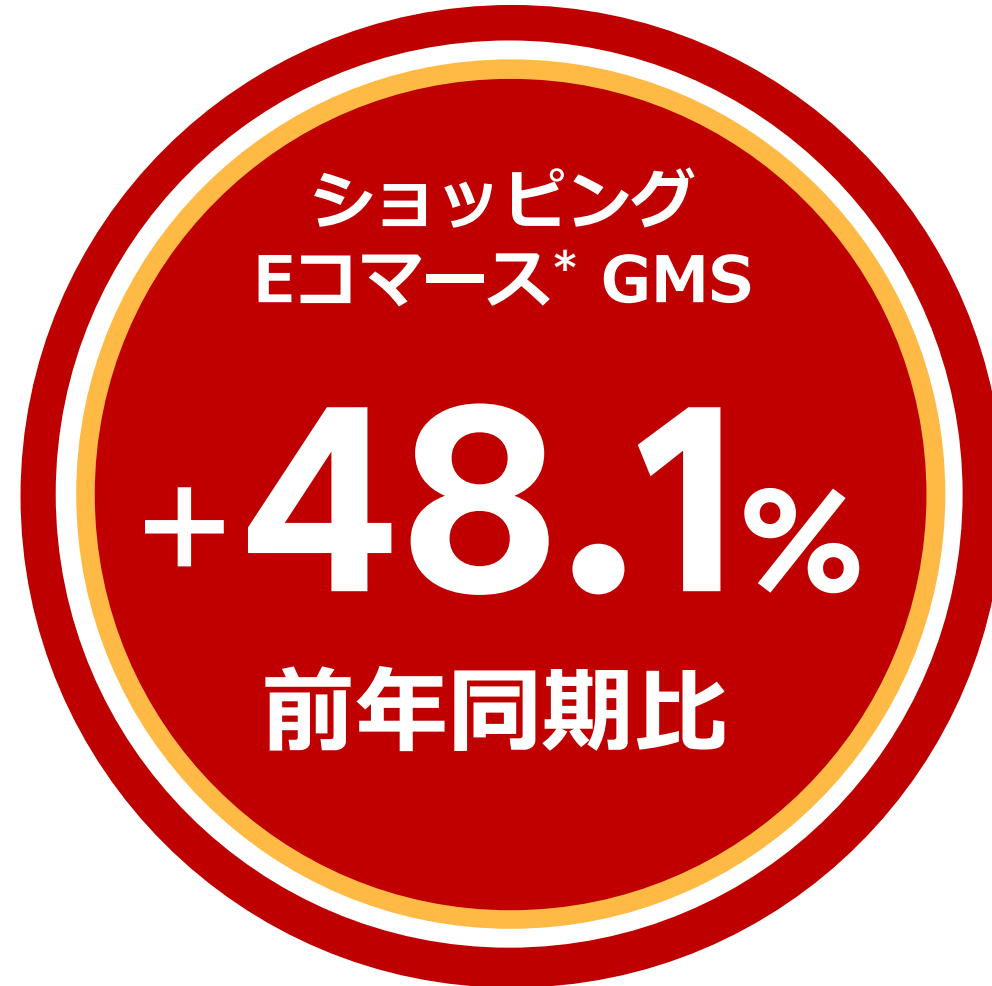
\*3 楽天モバイル、物流投資等を含む

# 消費者行動の変化を捉えた楽天のビジネスの広がり

消費者行動の変化	分野	インパクト
<b>ライフスタイル</b> ソーシャルディスタンスに伴うオンラインへの移行	オンラインショッピング	<b>楽天市場</b> : GMS ↑ / 新規・復活購入者数、注文件数 ↑ ショッピングEC Q2/20 GMS: <b>+48.1%</b> 前年同期比
	オンラインバンキング キャッシュレスペイメント	<b>楽天証券</b> : Q2/20 売上 <b>+29.3%</b> 前年同期比/ 営業利益 <b>+62.1%</b> 前年同期比、株式・FX 取扱額 ↑ <b>楽天カード</b> : ショッピング取扱高 ↑
	デジタル エンターテイメント	<b>Rakuten TV</b> : アクティブユーザー <b>+390万</b> 前四半期比 <b>Rakuten VIKI</b> : 登録ユーザー <b>+370万</b> 前四半期比
	オンライン教育	<b>Rakuten Kobo</b> : 売上 ↑ / 登録ユーザー <b>+190万</b> 前四半期比
<b>ワークスタイル</b> 在宅勤務	モバイル / 5G データと接続性の拡大	<b>楽天モバイル</b> : オンライン申込みの拡大 申込数 <b>100万</b> 回線達成
<b>コミュニケーション</b> データ消費量の増加 グループでのオンライン におけるコミュニケーション		<b>Rakuten Viber</b> : ユニークID <b>+1,650万</b> 前四半期比



# Q2/20 国内EC 新型コロナウイルスの影響



\* ショッピングEコマース=楽天市場 + 1st パーティ (ファッション, ブックス, Rakuten24 (ダイレクト), ネットスーパー + オープンEC (Rebates, チェックアウト) + ラクマ



# ショッピングEコマース\*<sup>1</sup>における購入者数が順調に拡大

Q2/20  
新規購入者数



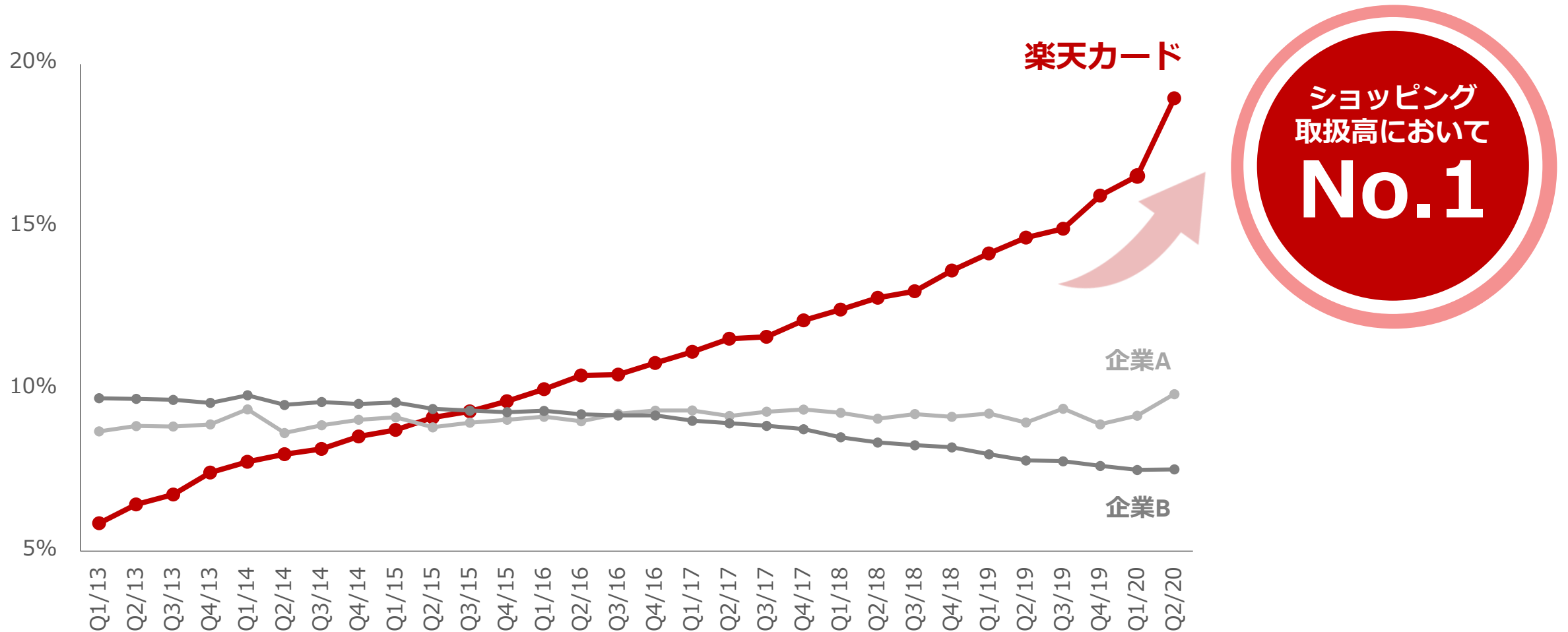
Q2/20  
復活購入者数\*<sup>2</sup>



\*<sup>1</sup>ショッピングEコマース=楽天市場 + 1st パーティ (ファッション, ブックス, Rakuten24 (ダイレクト), ネットスーパー + オープンEC (Rebates, チェックアウト) + ラクマ

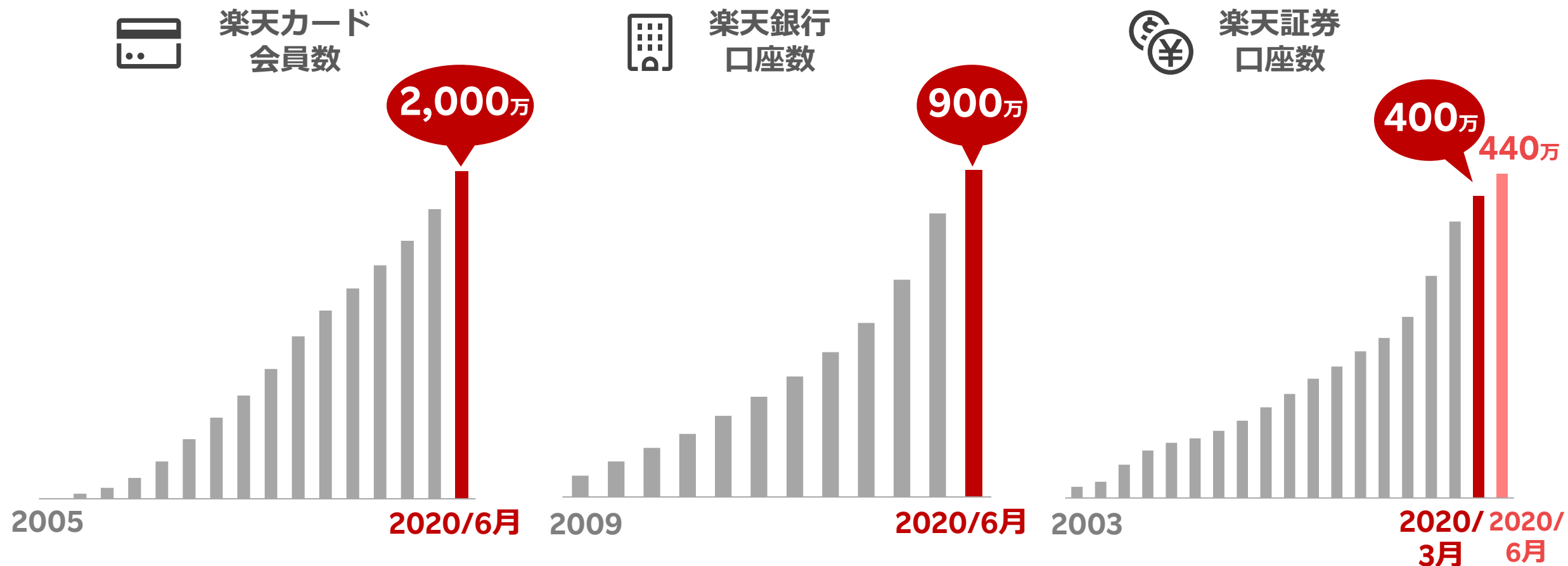
\*<sup>2</sup>復活購入者数=1年以上購入がなかったユーザーが購入した場合

# 楽天カードショッピング取扱高シェアの急拡大



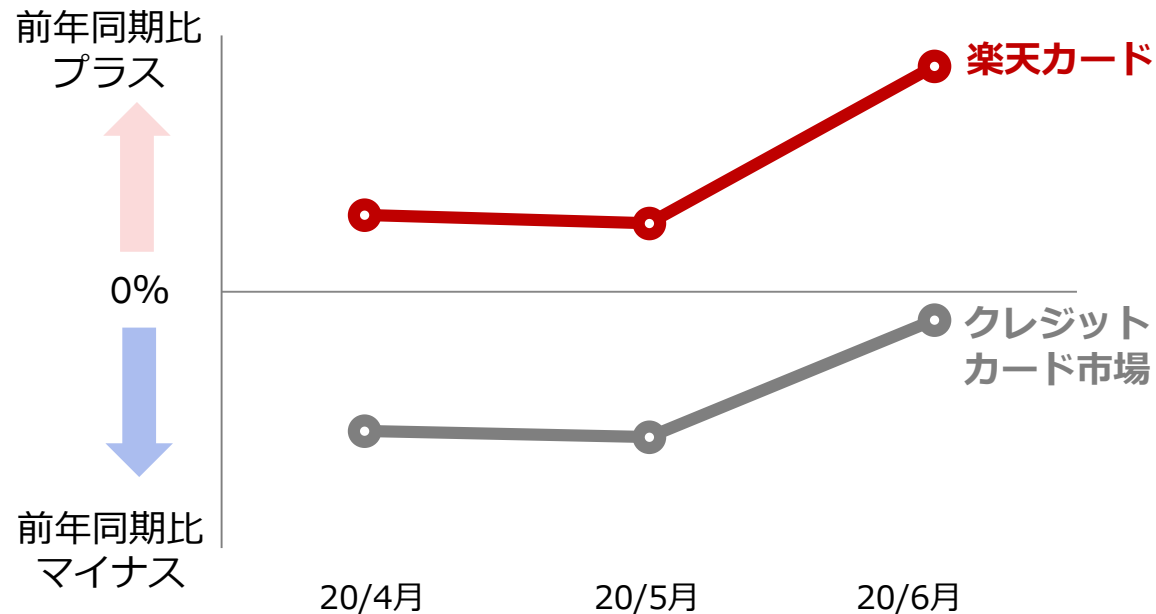
\*経済産業省、特定サービス産業動態統計調査、クレジットカード業。各社開示情報

# フィンテック事業におけるマイルストーン



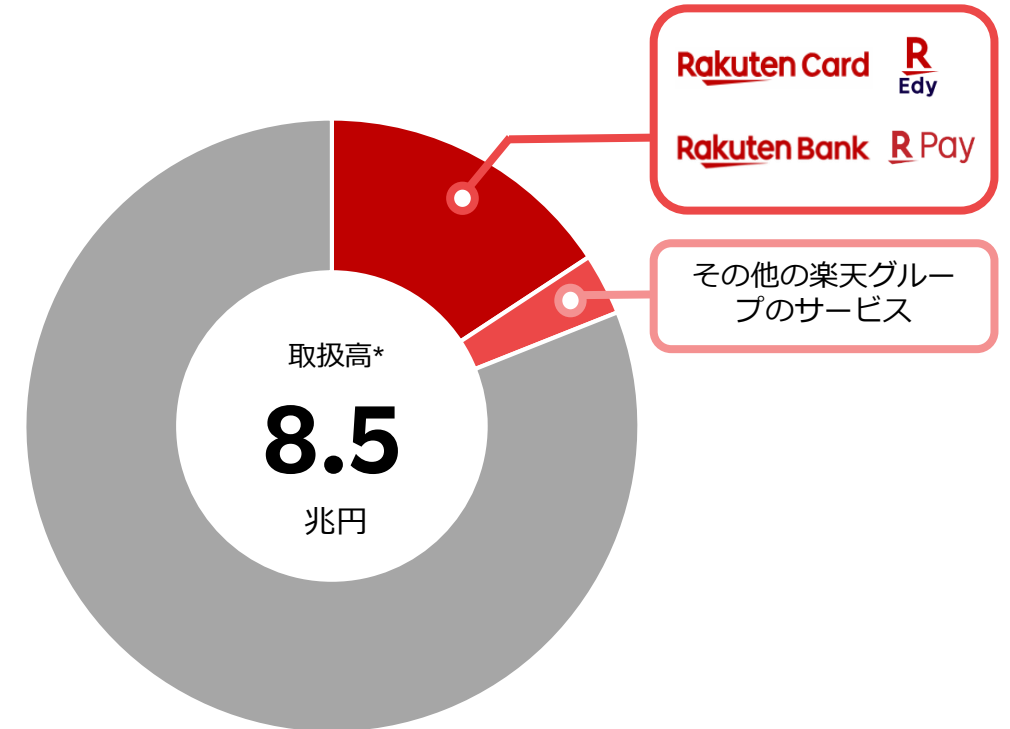
# キャッシュレスにおける楽天グループの強固なポジション

クレジットカード市場を上回る  
ショッピング取扱高成長率(前年同期比)



\*経済産業省、特定サービス産業動態統計調査、クレジットカード業

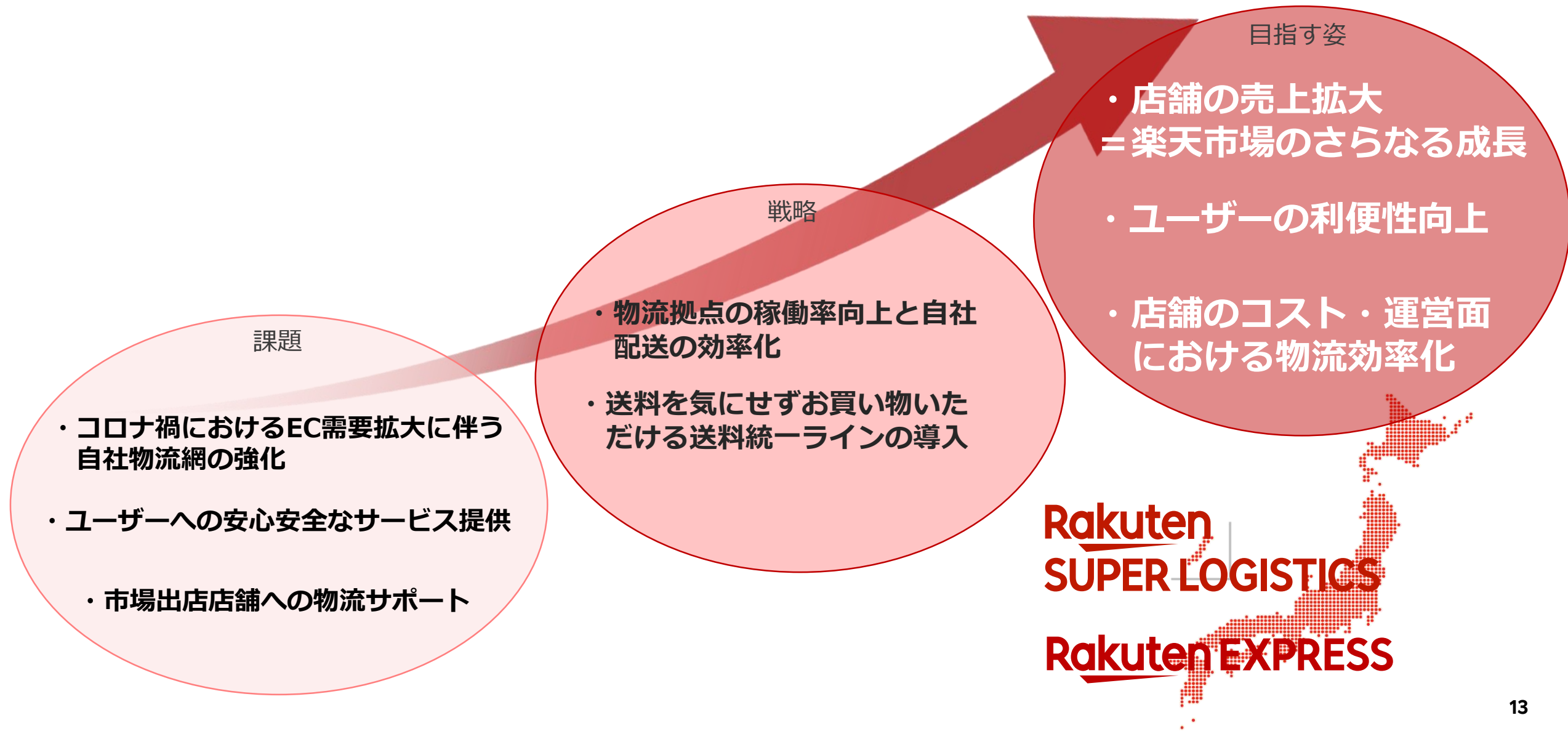
楽天グループ：キャッシュレスにおける  
強固なポジション



\*経済産業省、キャッシュレス・消費者還元事業、2019年10月1日～2020年4月13日の取扱高

## 2. EC需要の高まりに向けた取り組み

# EC需要拡大に向けた戦略



# 物流拠点の拡大

## Rakuten SUPER LOGISTICS

大阪：枚方  
兵庫：川西・尼崎

千葉：市川・流山  
神奈川：相模原

New

千葉：RFC習志野

20年6月15日稼働開始



Coming soon

神奈川：RFC中央林間

21年上期稼働開始予定

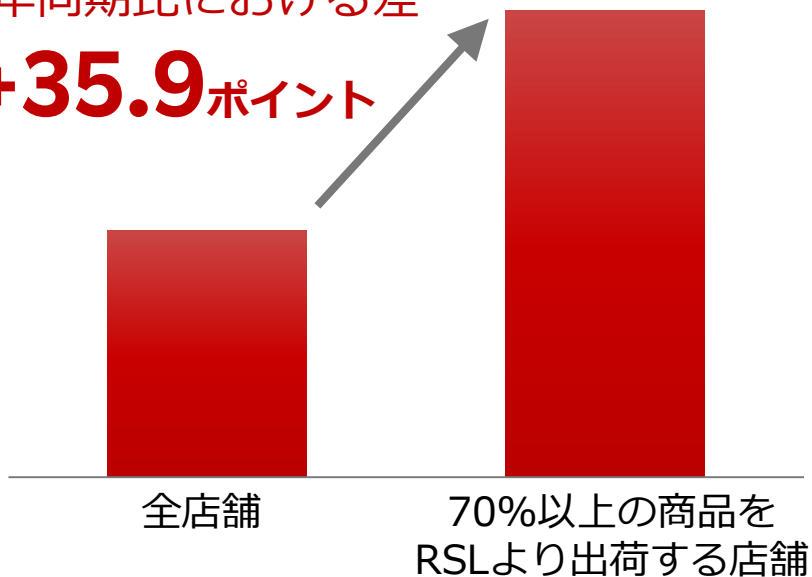


# 楽天スーパーロジスティクス（RSL）利用店舗におけるGMSの高成長

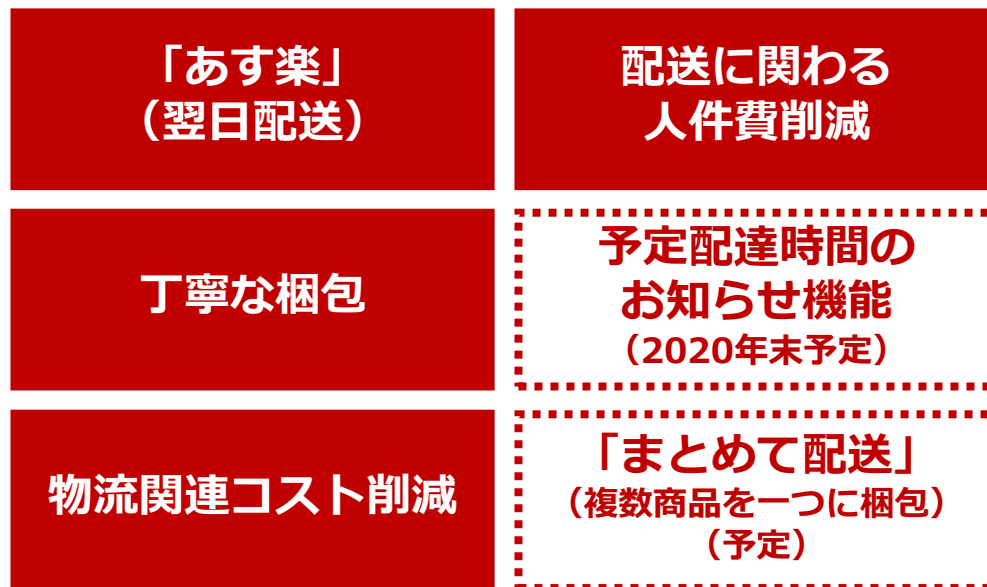
Q2/20  
店舗における平均月次GMS前年同期比

前年同期比における差

**+35.9**ポイント



## 売上成長の要因



楽天スーパーロジスティクス  
利用店舗は、高い売上成長率を実現



# 共通の送料込みライン導入が市場の成長を牽引

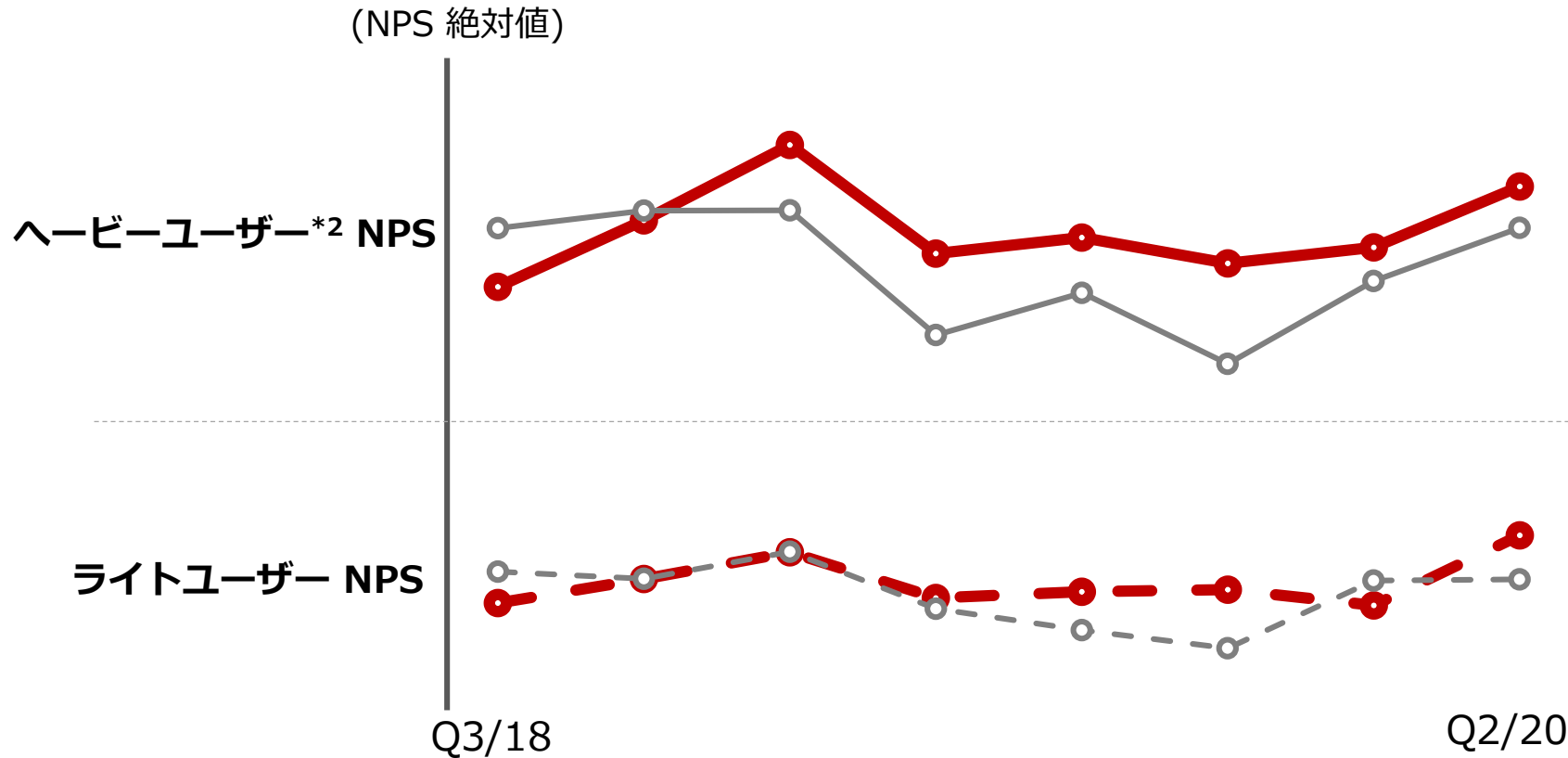
楽天市場において、3月18日より**3,980円**の共通の送料込ラインを導入

**送料ライン導入店舗  
(39ショップ)の  
GMS伸長率は、導入  
時より堅調に拡大**

送料ライン導入店舗 (39ショップ)の方がユーザーに好評であり、楽天市場全体の成長を牽引

# 楽天のNPS\*1は競合と比較し大幅に向上

## Q3/18と比較しNPSは改善



**Rakuten**  
**+9.9** ポイント

Company A  
**+0.03** ポイント

**Rakuten**  
**+6.7** ポイント

Company A  
**-0.7** ポイント

\*1 Net Promoter Score (NPS) 調査 : 当社調べ。外部複数パネルを対象としたインターネット調査。

\*2 楽天におけるヘビーユーザー : ダイヤモンド/プラチナランクユーザー。Company Aにおけるヘビーユーザー : 有料会員

### 3. モバイルビジネスにおける堅調な顧客獲得

ユーザー獲得の加速

契約申し込み数

**100万回線**

サービス開始から3か月

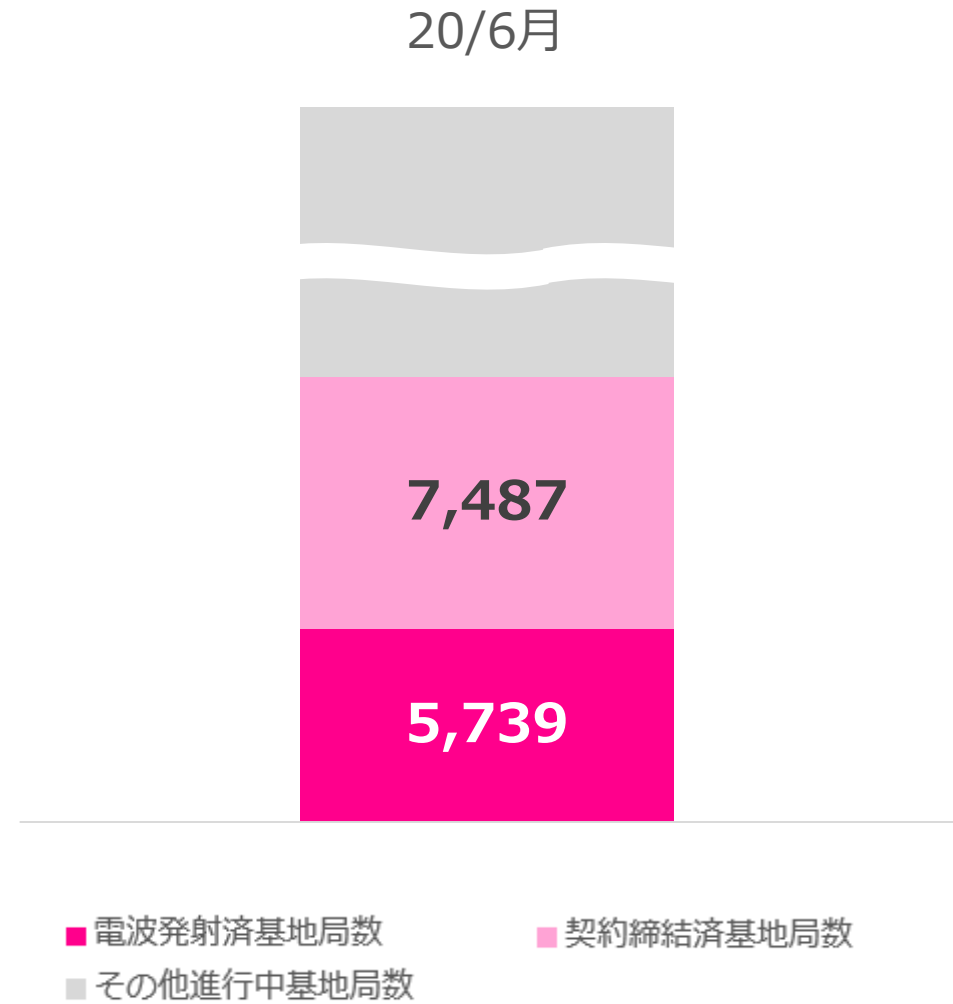
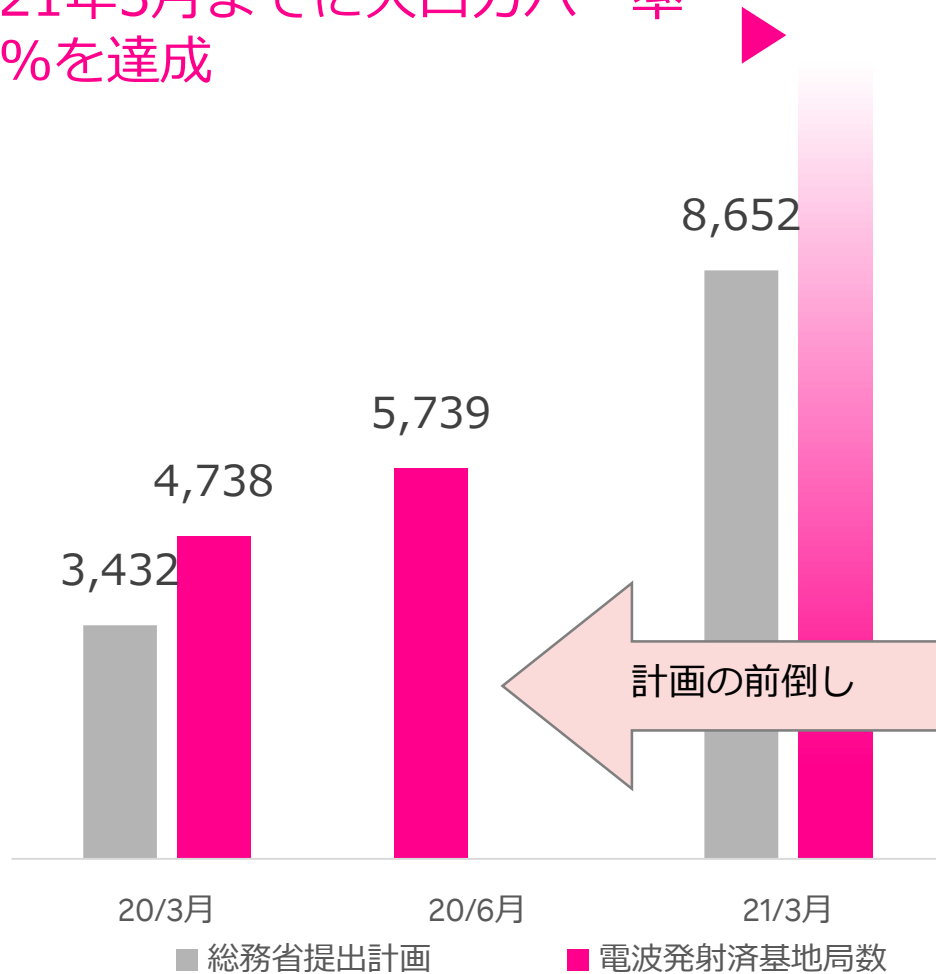
# 7月17日より楽天モバイル新CMスタート

- 日本人の83%がスマートフォン通信料を下げてほしいと考えている\*
- データ・通話使い放題プランを業界比約半額で提供
- 複雑な条件なし
- 解約料なし

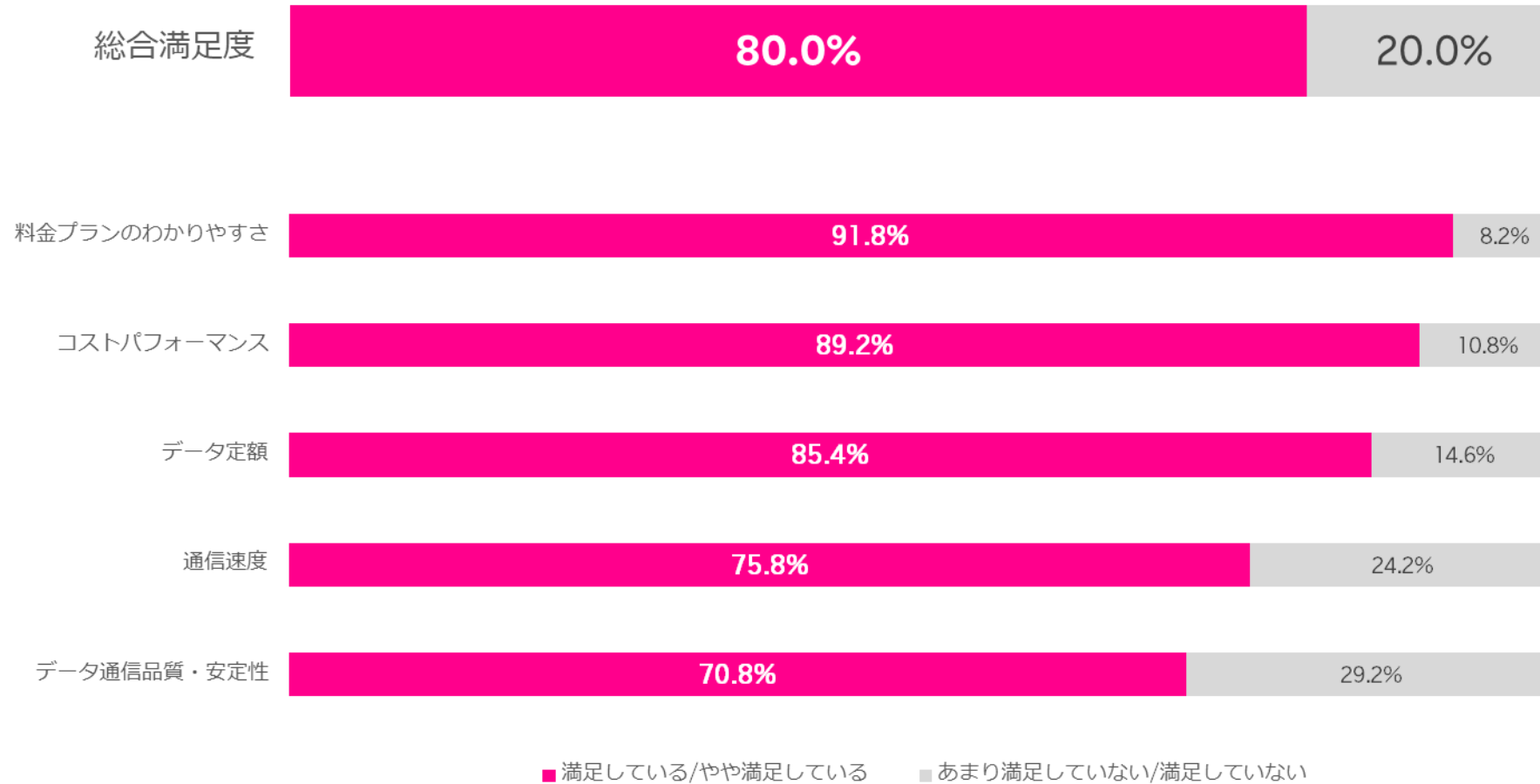
\*消費者庁「平成31年1月物価モニター調査結果（速報）」のデータをもとにスマートフォンユーザーの意見について算出

# 通信基地局建設の前倒し

2021年3月までに人口カバー率  
70%を達成



# Rakuten UN-LIMITの高い顧客満足度



\* 出典: MMD研究所 2020年6月 『Rakuten UN-LIMIT』 サービス開始後の利用者実態調査

# Rakuten Mobile 5G 2020年秋スタート

ソフトウェア・アップグレードとアンテナの装着による効率的な5G展開

## 5Gコアの開発

Rakuten Mobile



NEC

コンテナ技術を導入したStand Alone方式5Gコアネットワークの共同開発に合意

Rakuten Mobile



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry



新エネルギー・産業技術総合開発機構  
New Energy and Industrial Technology Development Organization

経産省、NEDOが公募した「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業」において、2件の研究開発に採択



## 4. RCP (Rakuten Communications Platform) 戦略

# 次世代のグローバル5Gリーダー

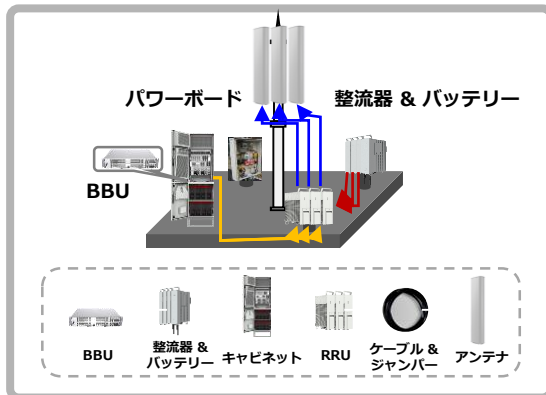
グローバル展開

国内 MNO サービス

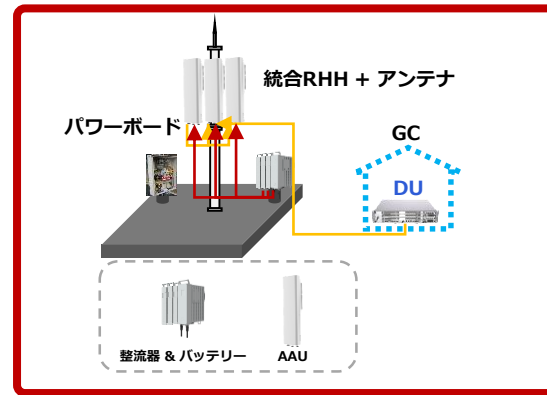
## 世界初の完全仮想化の開発と展開

- モバイル通信ネットワークの設計、構築、運用方法を再定義
- 仮想化、自動化、オープンアーキテクチャによる設備投資額と営業費用の大幅な削減

従来のサイト配備



楽天の仮想化サイト



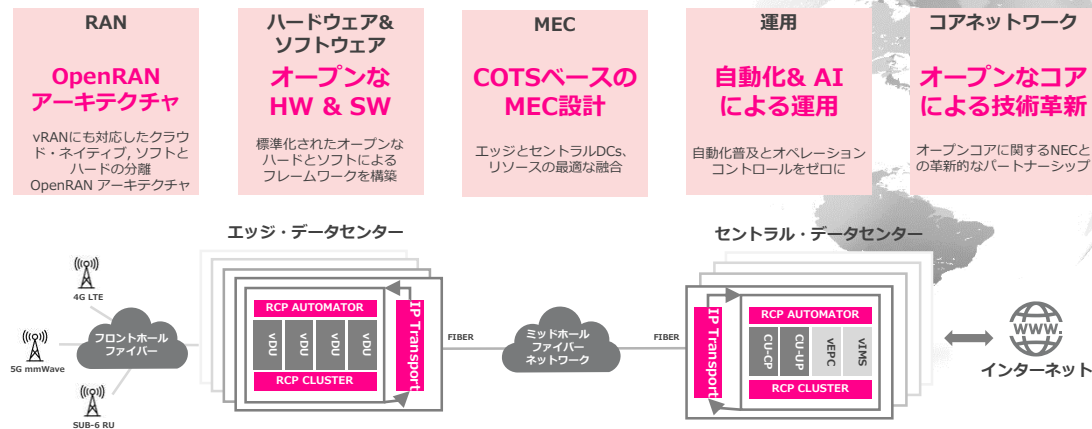
~40% 設備投資額 低減  
~30% 営業費用 低減

イノベーションにより  
1兆ドル以上の通信産業市場  
をターゲットに

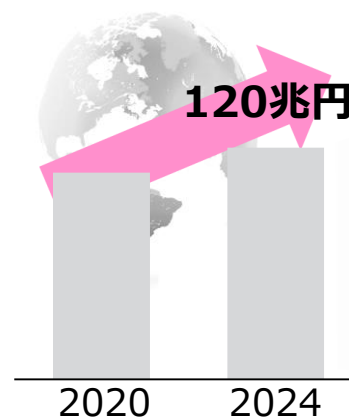
「楽天は、4月8日に最初の本格的な仮想ネットワークを開始…それは、Amazonが2006年に先駆的なクラウドコンピューティング部門を立ち上げたのと同じくらい重要なことかもしれない。」  
(出典：エコノミスト 2020年4月8日)

# RCP (Rakuten Communications Platform)

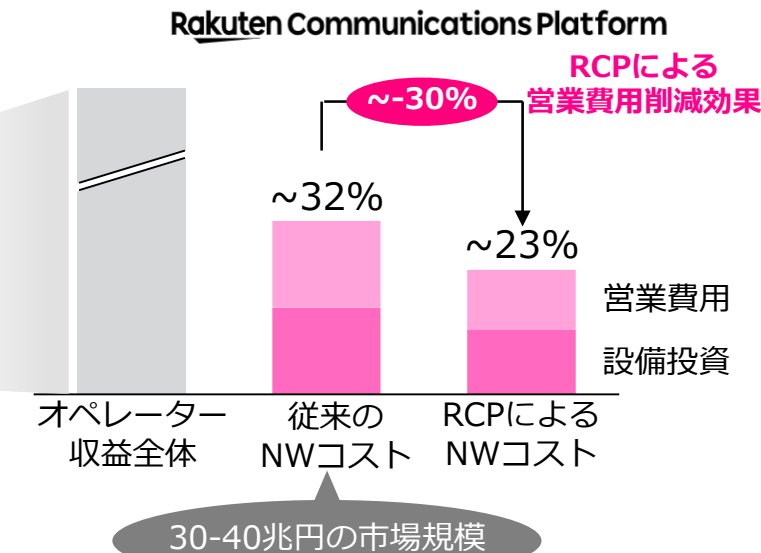
## Rakuten Communications Platform



グローバルモバイルオペレーターの収益合計



モバイルオペレーターのネットワークコスト (収益に対する割合)



- 特定ベンダーによるロックインを回避
- マーケットプレイス型のアプリストアでネットワークの運用について追加サービスを選択的に迅速に導入できる
- AI を活用したネットワーク最適化も基本機能として搭載されており、オペレーション改善に寄与
- 5Gの高額なインフラ投資に対しての経済合理的なソリューション

## モバイル通信ネットワークの設計、構築、運用方法を再定義

## 5. 楽天エコシステムの強み

# 楽天エコシステム：デジタル化と多様性 力強く安定した成長



グローバル  
メンバーシップ

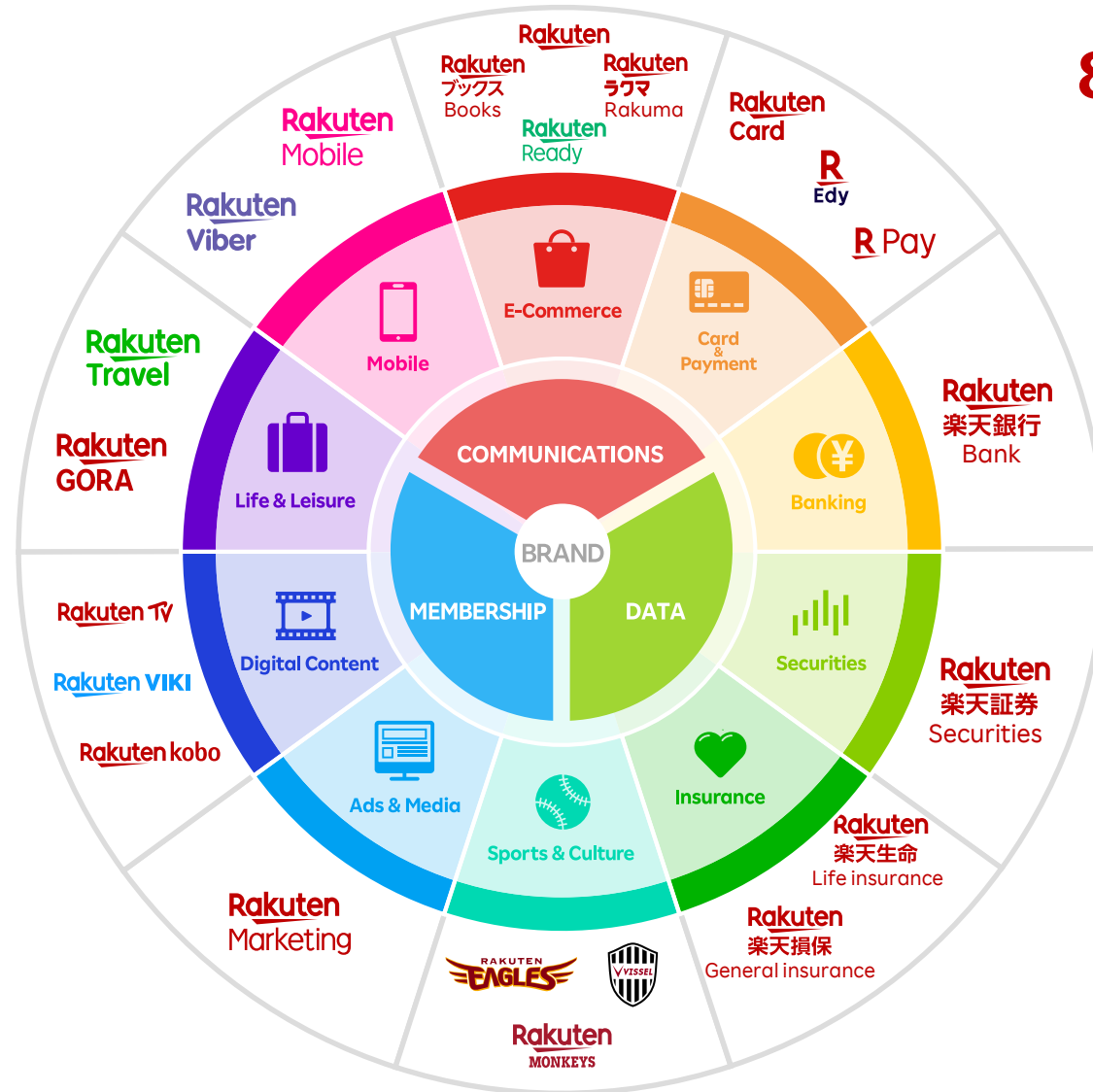
14億



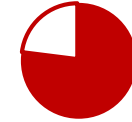
年間ポイント  
発行数

3,200億

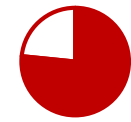
\*2019年度実績



Taiwan 82.7% U.S. 60.2% Spain 74.1%



France 79.7% Canada 64.5%



\* 当社調べ 楽天ロゴ助成想起認知度調査 (2020年7月)



サービス数  
70超



# 新型コロナウイルスに対する取組み:ステークホルダーをサポート

## 従業員

- **ビデオ会議システムや電子署名等**、ITを活用し、原則在宅勤務を継続
- **高度なセキュリティが担保**されている中でのWFH
- 感染予防策について定めた**Return to officeガイドライン**を新たに策定



## お客様

- 楽天Express / 西友ネットスーパー：**非対面受取が可能に**
- Vacation STAY：**テレワーク応援キャンペーンの実施**



# Rakuten

## 取引先

- 楽天トラベル **“Secure Travel”**  
楽天GORA **“Play Safe”**  
楽天ビューティー  
新型コロナウイルス対策を明記
- 楽天リアルタイムテイクアウト  
**10月までサービス利用料無料**

Rakuten Travel

Rakuten GORA **PLAY SAFE**

Rakuten BEAUTY

Rakuten  
リアルタイムテイクアウト

安心な旅を  
楽しもう



安全・安心にゴルフを楽しみましょう！

**PLAY SAFE**

※必ずマスクを着用し、3分程度手を洗ってください。



## 社会

- クラッチ募金：医療機関等への寄付
- ふるさと納税：  
新型コロナウイルスの影響を受けた生産者や事業者への支援企画で**寄付金額が10億円を突破**



新型コロナウイルス  
感染症対策支援募金  
COVID-19 crisis response fund



# サステナビリティへのコミットメント

## 主要なESG投資指数の構成銘柄に選定



FTSE4Good

年金積立管理運用独立行政法人（GPIF）がESG投資に採用しているグローバルESG指数

**2020** CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

**2020** CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom  
Japan



**Rakuten**

The Rakuten logo consists of the word "Rakuten" in a bold, red, sans-serif font. A red horizontal bar is positioned below the letters "a", "k", and "u", extending from the left side of the "a" to the right side of the "u".

# 連結業績

# Q2/20 連結業績サマリー

(単位：十億円)

	Q2/19	Q2/20	前年同期比
売上収益	306.3	347.3	+13.4%
Non-GAAP 営業利益	3.2	-32.6	-357億円
Non-GAAP 営業利益 (モバイル、物流、投資事業の損益除く)	24.7	31.3	+26.8%
IFRS 営業利益	-1.8	3.3	+51億円

OverDrive Holdings, Inc.の売却益409億円を含む

# Q2/20 売上収益と営業利益

(単位：十億円)

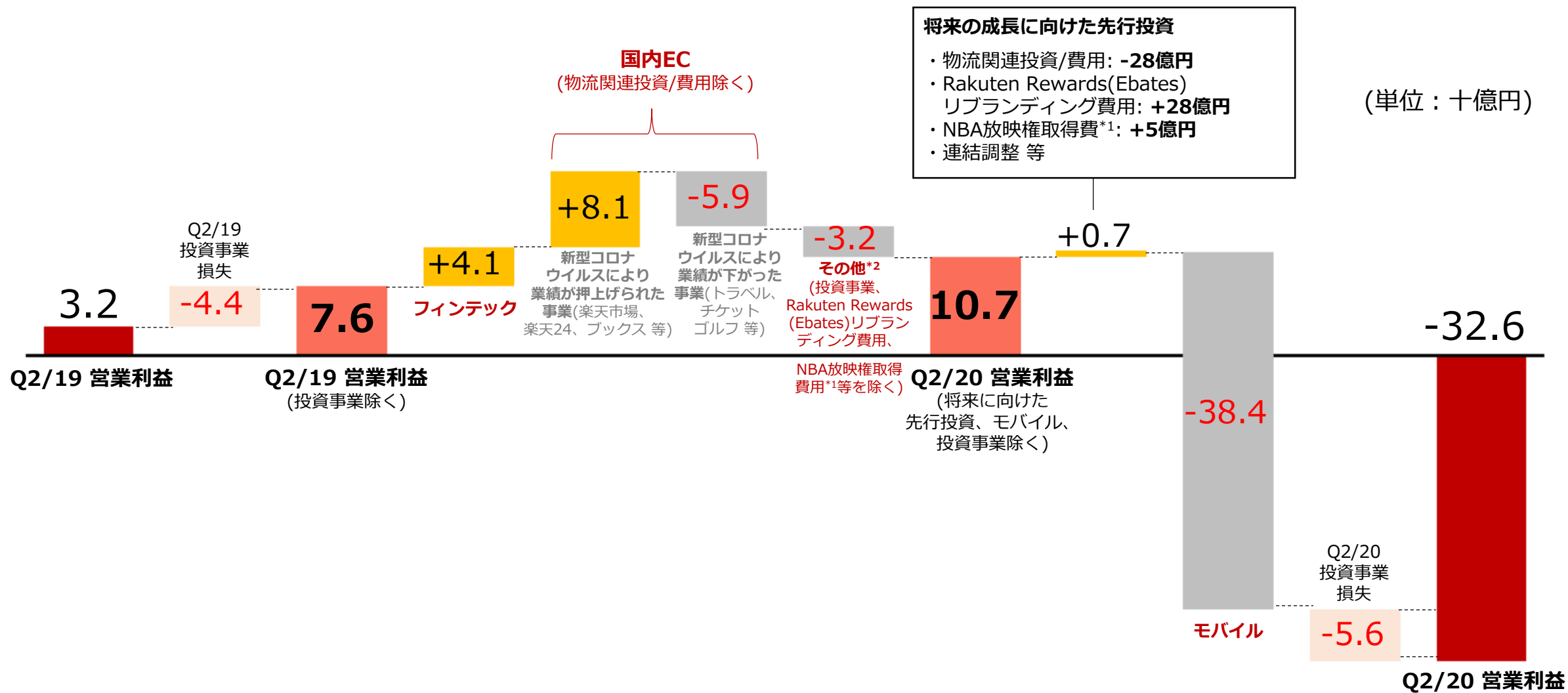
	Q2/19	Q2/20	YoY
<b>コア事業<sup>*1</sup></b>			
売上収益	244.6	267.5	+9.4%
営業利益	34.0	34.4	+1.2%
<b>市場変動型等／投資事業<sup>*2</sup></b>			
売上収益	29.7	33.2	+11.6%
営業利益	-1.9	-1.5	+3億円
<b>将来の成長に向けた先行投資型事業<sup>*3</sup></b>			
売上収益	61.5	86.9	+41.3%
営業利益	-29.1	-66.7	-376億円
<b>調整額</b>			
売上収益	-29.4	-40.2	-108億円
営業利益	0.1	1.3	+1093.7%
<b>連結</b>			
売上収益	306.3	347.3	+13.4%
Non-GAAP 営業利益	3.2	-32.6	-357億円
IFRS 営業利益	-1.8	3.3	+51億円

\*1 楽天市場、楽天トラベル、Rakuten Rewards (Ebates)、楽天カード、楽天銀行、楽天生保等を含む

\*2 楽天証券、楽天損保、投資事業を含む

\*3 物流関連投資、楽天モバイル、ペイメント事業、NBA放映権、Rakuten Rewards (Ebates) リブランディング費用等を含む

# Q2/20 Non-GAAP 営業利益詳細

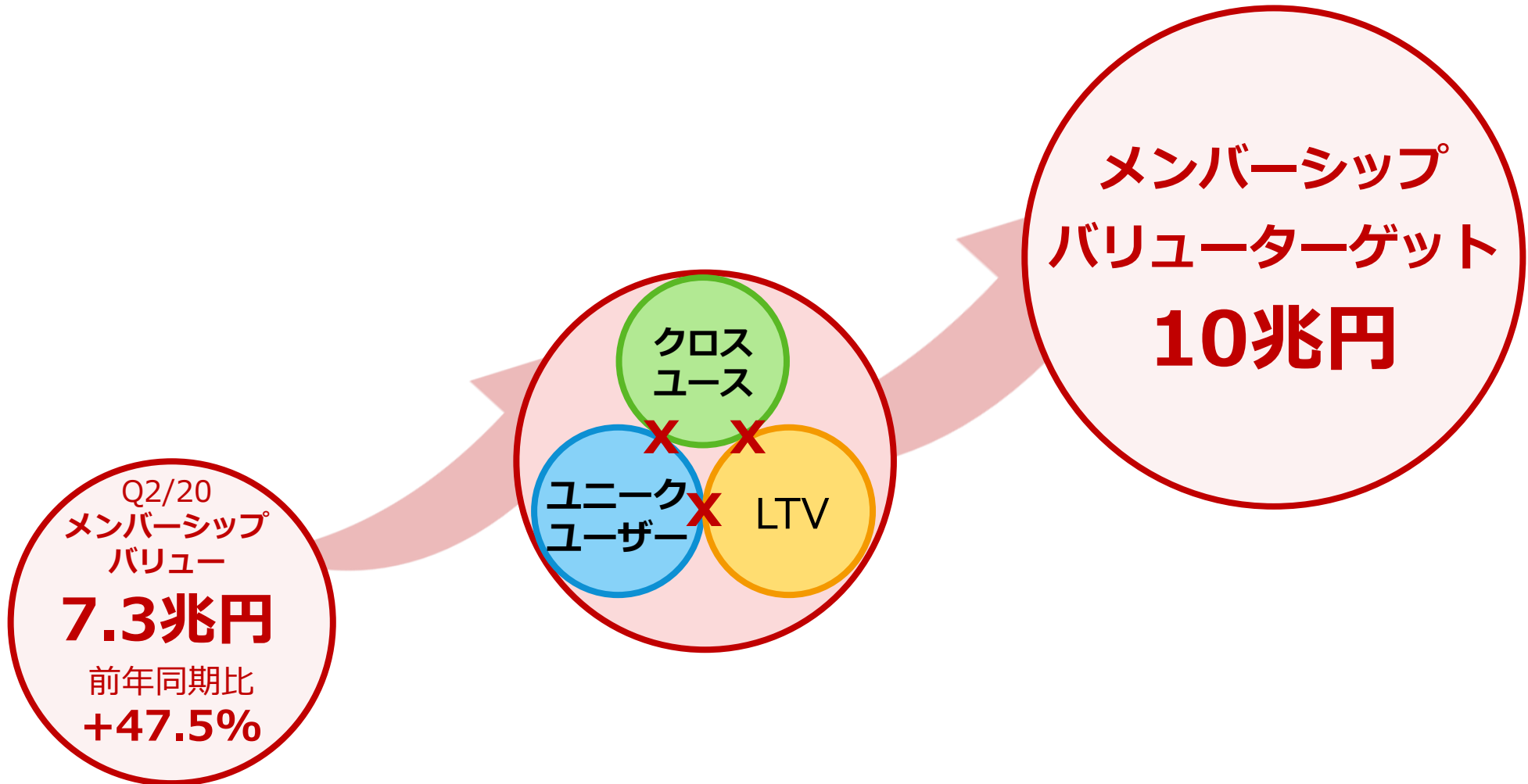


\*1 NBAの放映権取得費用はインターネットサービスセグメントの「その他」に計上

\*2 「その他」セグメントには主に海外EC事業とスポーツ事業を含む

# 楽天エコシステムの超拡大

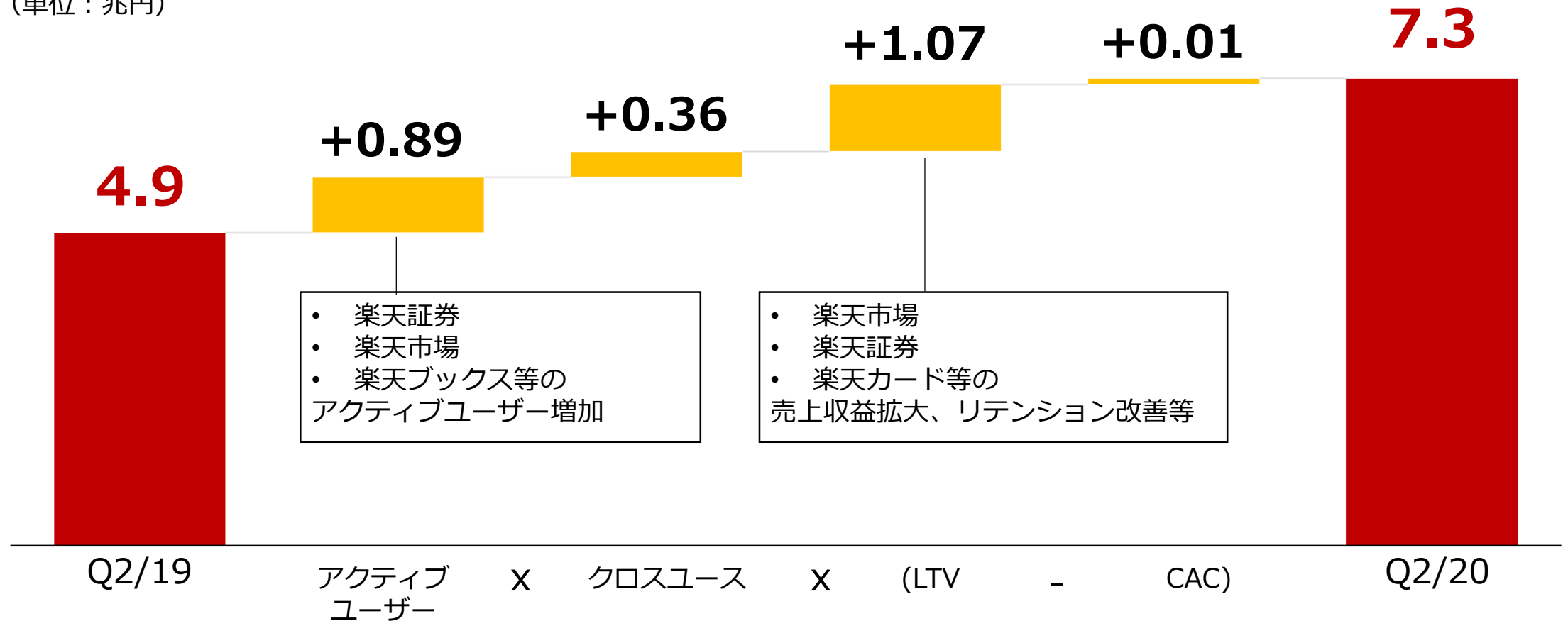
- メンバーシップバリューは目標の10兆円に向け順調に拡大



# 楽天エコシステムのメンバーシップバリュー

- メンバーシップバリューは新型コロナウイルスの影響による楽天市場、楽天証券、楽天カードのユーザー拡大と粗利が改善したことにより、前年同期比+47.5%と大幅に拡大

(単位：兆円)



\* MVNOのメンバーシップバリューはQ2/19とQ2/20共に含まず

**Rakuten**

The Rakuten logo consists of the word "Rakuten" in a bold, red, sans-serif font. A red horizontal line is positioned below the letters "a", "k", and "u", starting from the left edge of the "a" and ending at the right edge of the "u".

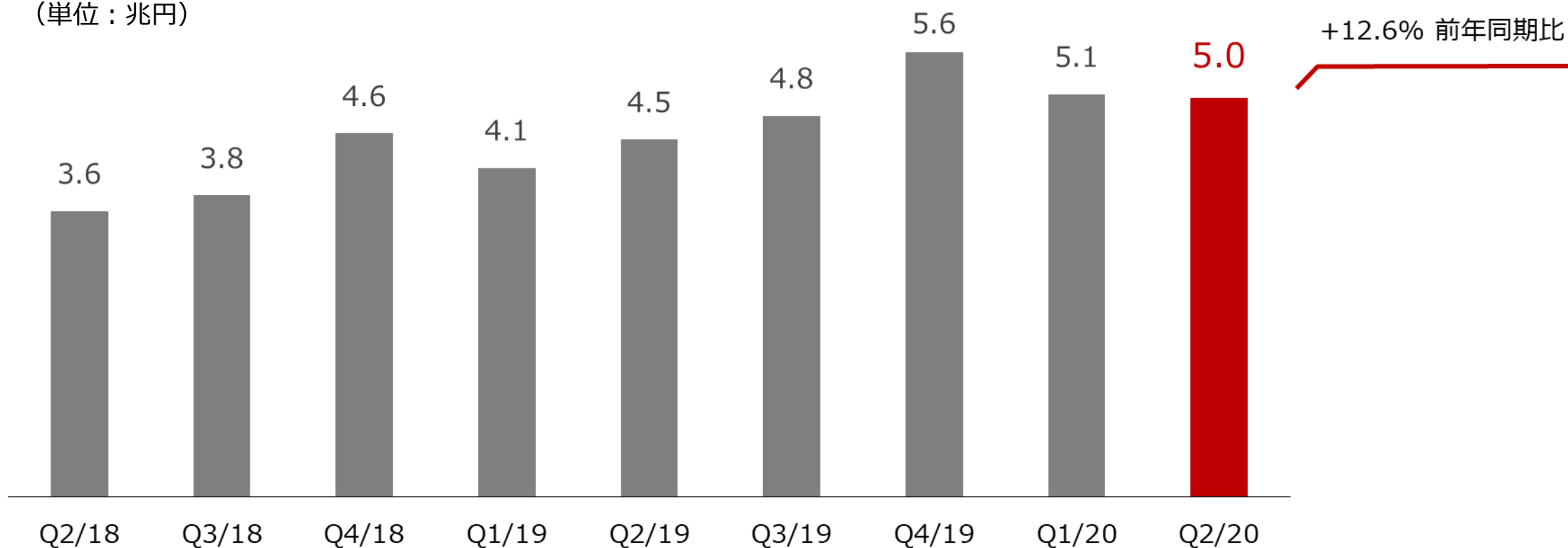


# Appendix

# 連結業績

# グローバル流通総額\*1\*2

(単位：兆円)

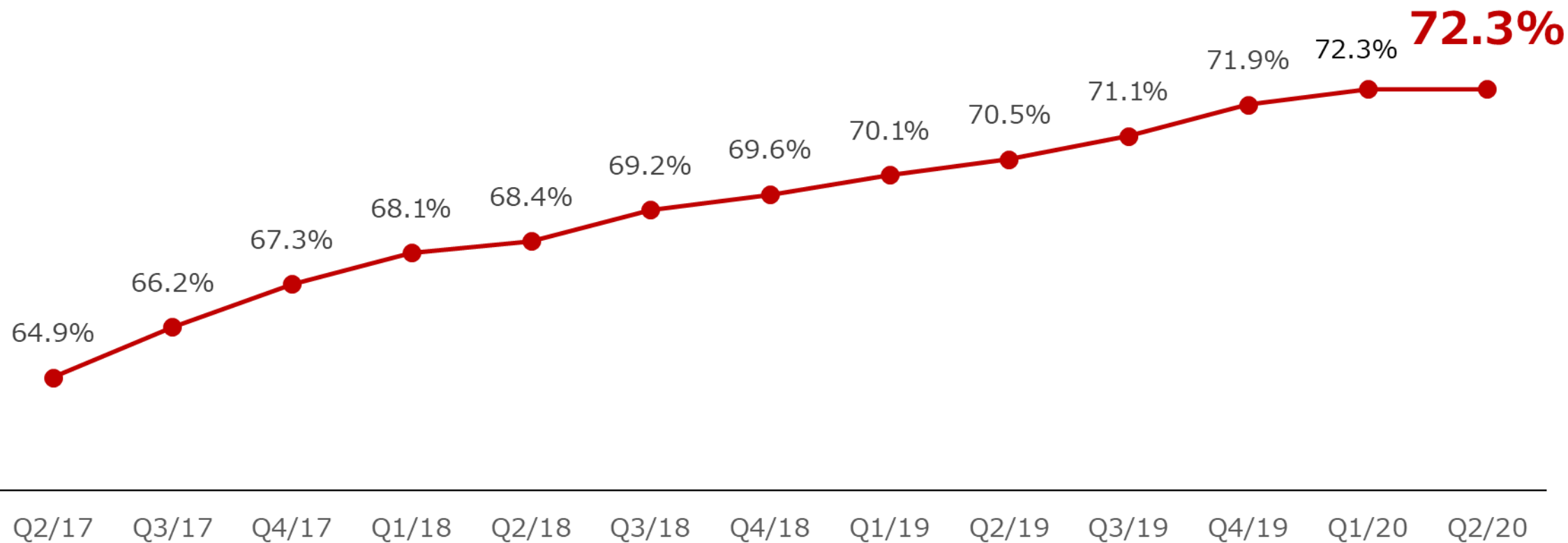


\*1 グローバル流通総額 = 国内EC流通総額 + クレジットカードショッピング取扱高 + Edy決済取扱高 + 楽天ペイ決済取扱高 + 楽天ポイントカード取扱高 + 海外EC流通総額 + Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額 + デジタルコンテンツ取扱高 + 楽天マーケティング取扱高

\*2 決済・アフィリエイトサービスには、楽天グループ内取引を含む

# クロスユース率\*の拡大

- SPU等の施策により、クロスユースは堅調に推移。アクティブユーザーの増加に伴いメンバーシップバリューが拡大



\* 過去12か月間における2サービス以上利用者数／過去12か月間における全サービス利用者数 (2020年6月末時点)  
(楽天スーパーポイントが獲得可能なサービスの利用に限る)

# Q2/20 売上収益と営業利益

(単位：十億円)

		Q2/19	Q2/20	前年同期比
国内EC	売上収益	116.8	133.2	+14.0%
	営業利益	12.1	11.0	-9.1%
その他	売上収益	73.3	69.0	-5.9%
	営業利益	-13.9	-15.5	-16億円
インターネットサービスセグメント				
	売上収益	190.1	202.1	+6.4%
	営業利益	-1.8	-4.5	-27億円
フィンテックセグメント				
	売上収益	118.6	141.7	+19.5%
	営業利益	17.1	21.3	+24.2%
モバイルセグメント				
	売上収益	27.1	43.6	+61.0%
	営業利益	-12.2	-50.6	-384億円
調整額				
	売上収益	-29.4	-40.2	-108億円
	営業利益	0.1	1.3	+1093.7%
連結				
	売上収益	306.3	347.3	+13.4%
	Non-GAAP 営業利益	3.2	-32.6	-357億円
	IFRS 営業利益	-1.8	3.3	+51億円

# Q2/20 Non-GAAP營業利益調整額

(單位：十億円)

	Q2/19	Q2/20	前年同期比
Non-GAAP營業利益	3.2	-32.6	-357億円
無形資産償却費 (PPA)	-2.3	-2.7	-4億円
株式報酬費用	-2.6	-2.3	+3億円
非經常的な項目	0.0	40.9	+409億円
IFRS營業利益	-1.8	3.3	+51億円

# 楽天グループのバランスシート概要 (2020年6月末) \*子会社は内部取引を含む

(単位：十億円)

凡例

現預金	借入金
その他の資産	その他の負債
	資本

現預金 2,296.4	借入金 2,069.9
証券業の 金融資産 2,286.2	証券業の 金融負債 2,245.0
銀行業の 有価証券 ・貸付金 1,399.4	銀行業 の預金 3,769.0
カード事業 の貸付金 1,772.6	
その他の 資産 2,678.8	その他 の負債 1,625.8
	資本 723.6

総資産 10,433.3

楽天 (連結)

現預金 194.7	借入金 719.0
その他の 資産 2,010.0	劣後債 182.0
	その他 の負債 766.0
	資本 537.6

総資産 2,204.7

楽天

現預金 1,608.2	借入金 348.6
銀行業の 有価証券 ・貸付金 2,643.3	銀行業 の預金 3,869.0
その他 の資産 186.9	

総資産 4,438.4

楽天銀行

現預金 61.5	借入金 1,769.6
カード事業 の貸付金 1,764.3	その他 の負債 71.4
その他 の資産 629.9	資本 149.5

総資産 2,455.7

楽天カード

現預金 150.4	借入金 143.0
証券業の 金融資産 2,283.1	証券業の 金融負債 2,239.4
その他 の資産 69.8	その他 の負債 16.0
	資本 104.9

総資産 2,503.3

楽天証券

現預金 6.6	その他 の負債 34.8
その他 の資産 66.2	資本 38.0

総資産 72.8

楽天生命

現預金 85.0	その他 の負債 391.0
その他 の資産 351.0	資本 45.0

総資産 436.0

楽天損保

\*1 楽天、楽天銀行、楽天カード、楽天証券、楽天生命、楽天損保はIFRSに準拠した単独決算の数値

\*2 借入金 = 社債 + CP + 借入金

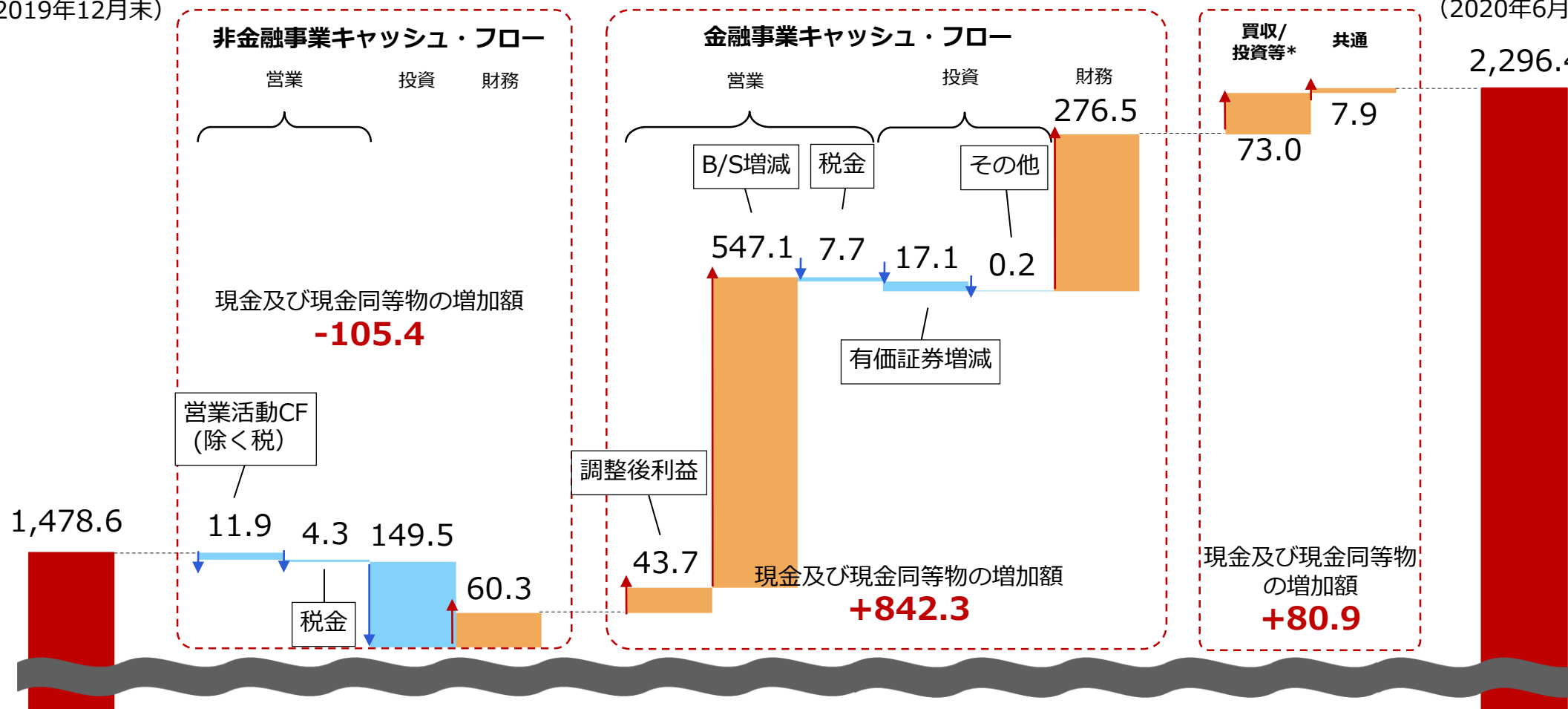
\*3 子会社は内部取引を含む

# キャッシュ・フローの状況 (2020年1月 - 6月)

(単位：十億円)

期首現預金残高  
(2019年12月末)

期末現預金残高  
(2020年6月末)



\* 買収、投資等には、「子会社の取得による収入、支出」の他、非金融における「拘束性預金の戻入による収入、支出」、「有価証券の取得による支出」及び「有価証券の売却及び償還による収入」が含まれます

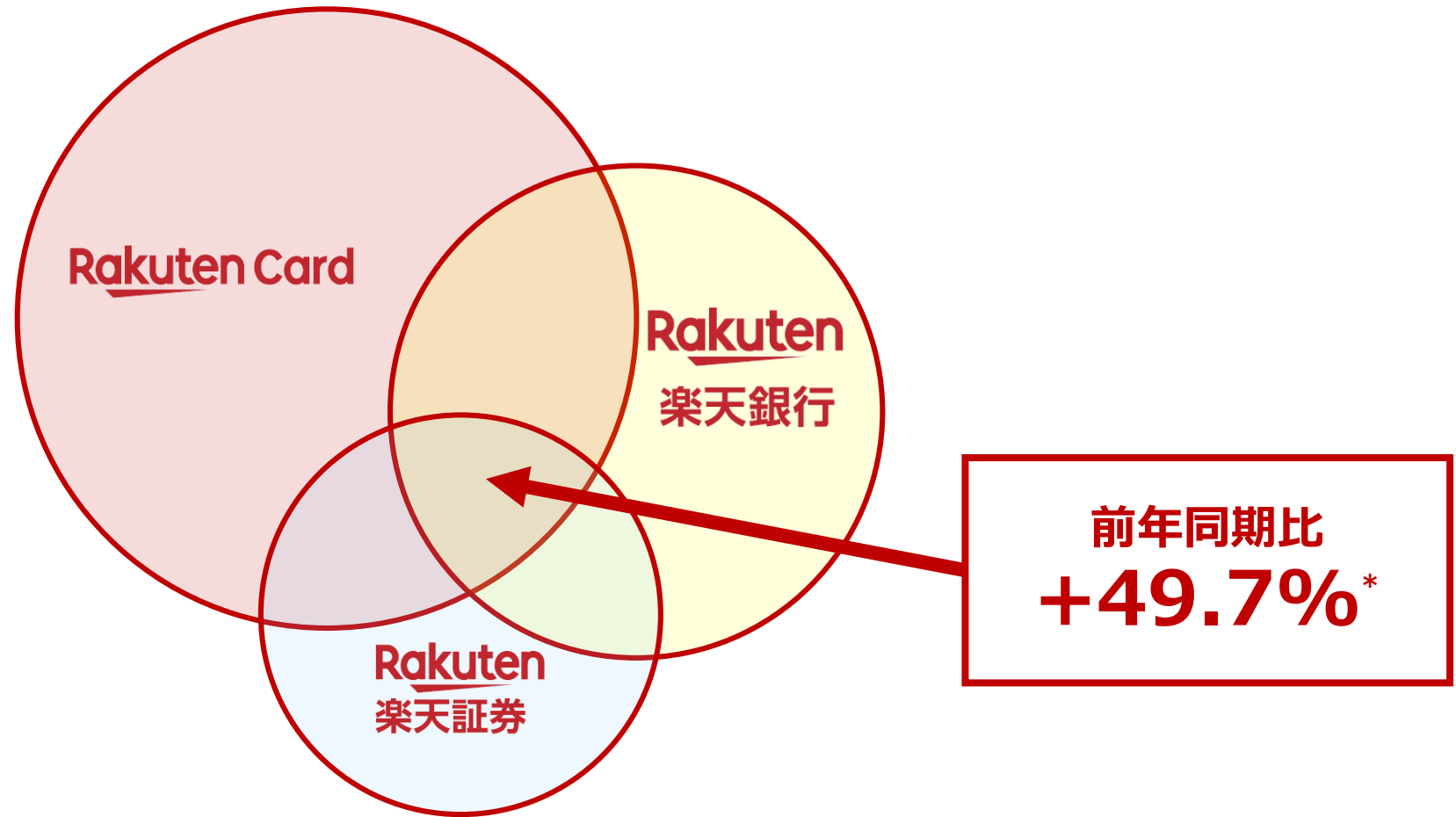


# フィンテックセグメント

# フィンテック事業間のクロスユース事例

- フィンテックサービス間のクロスユースは飛躍的に拡大

(ユニークユーザー数)



\* 2020年6月時点

# Q2/20 フィンテックセグメント業績サマリー

(単位：十億円)

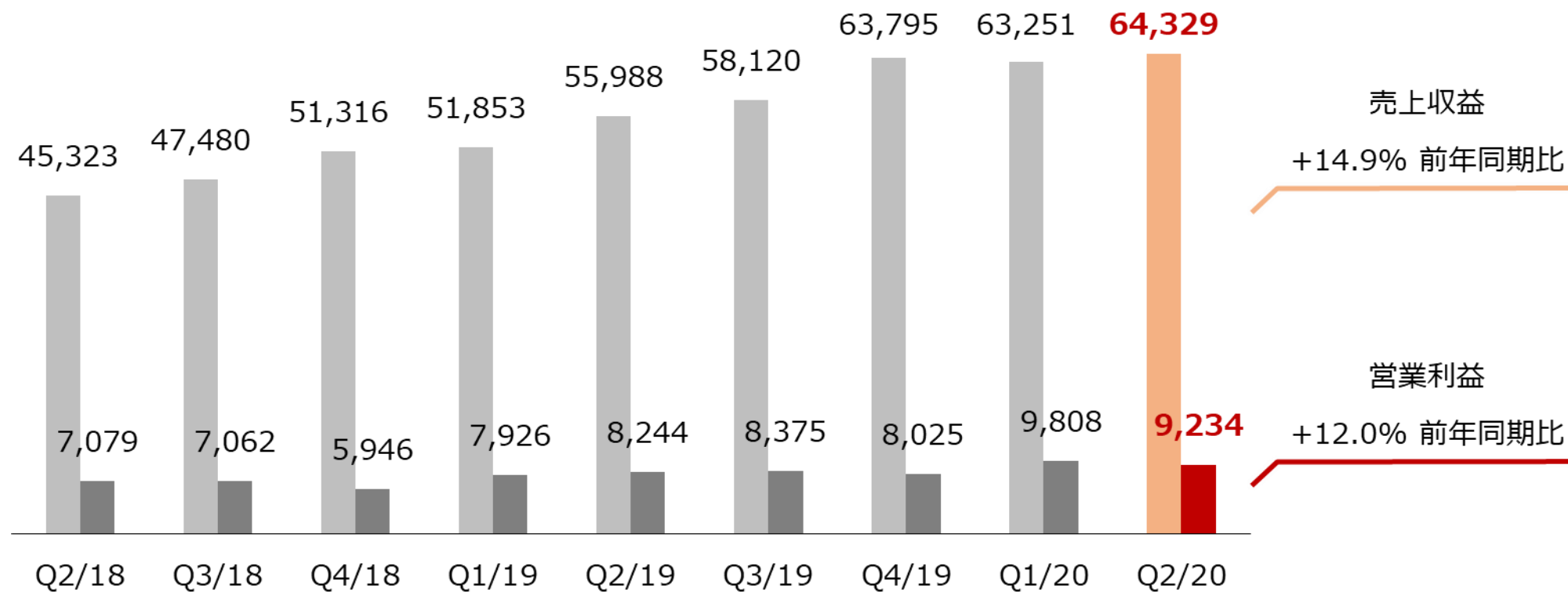
	売上収益	前年同期比	営業利益	前年同期比
楽天カード	64.3	+14.9%	9.2	+12.0%
楽天銀行	23.6	+7.0%	7.4	+6.4%
保険事業	28.1	+9.1%	1.9	+87.7%
楽天ペイメント	7.0	+6.2%	-0.6	+7.1億円
その他	1.4	65.6億円	-0.2	-2.7億円
フィンテック 合計（楽天証券除く）	124.5	+18.2%	17.6	+18.5%
楽天証券	17.3	+29.3%	3.7	+62.1%
フィンテック 合計	141.7	+19.5%	21.3	+24.2%

\* 保険事業は生命保険、損害保険、ペット保険、保険代理店を含む。詳細なデータは参考資料に掲載。

# 楽天カード 四半期業績推移

- ショッピング取扱高及びショッピングリボ残高の伸長により、売上収益は前年同期比+14.9%、営業利益は前年同期比+12.0%を達成

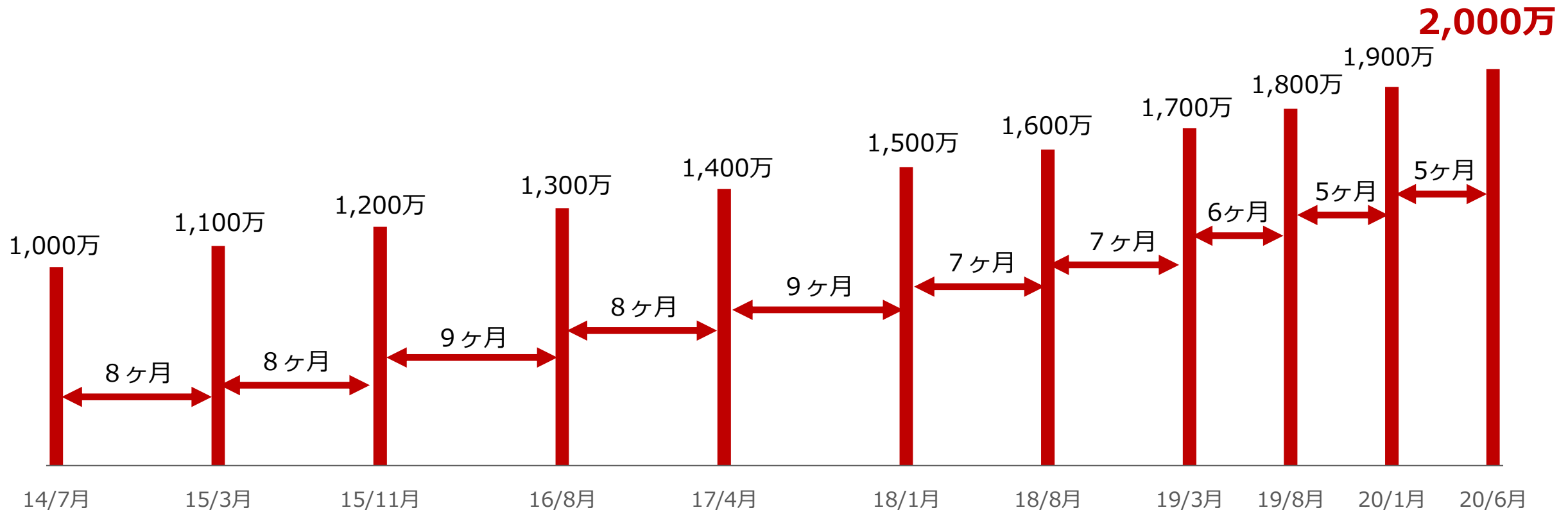
(単位：百万円)



# 楽天カード会員数2,000万人突破

■ 楽天カード会員数は20年6月に2,000万人に到達、引き続き拡大中

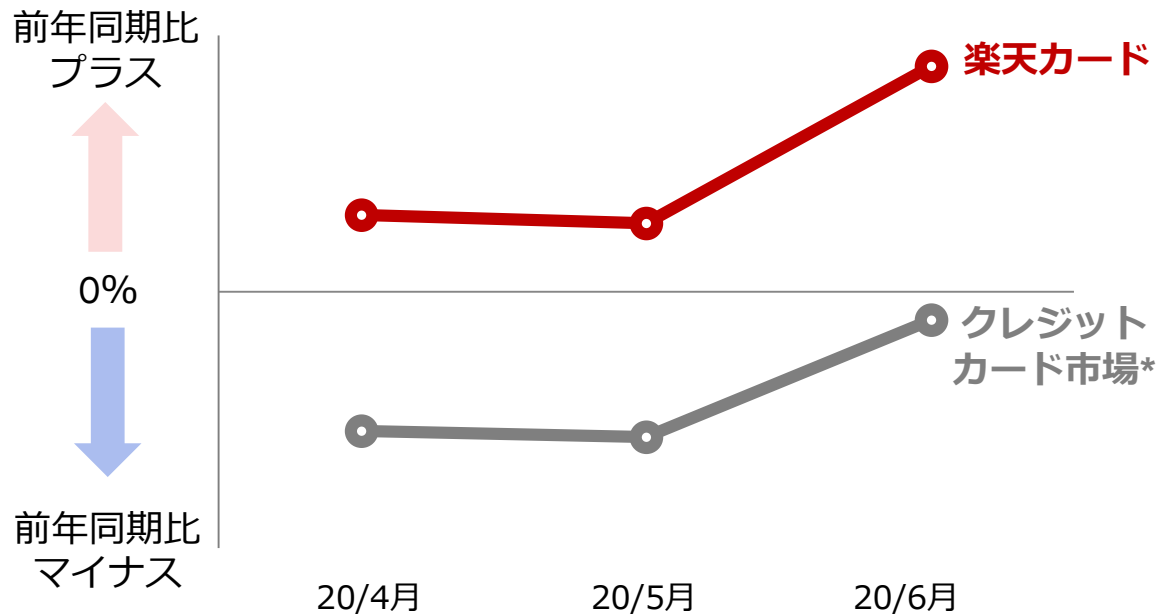
(カード会員数)



# メインカードとしての楽天カード

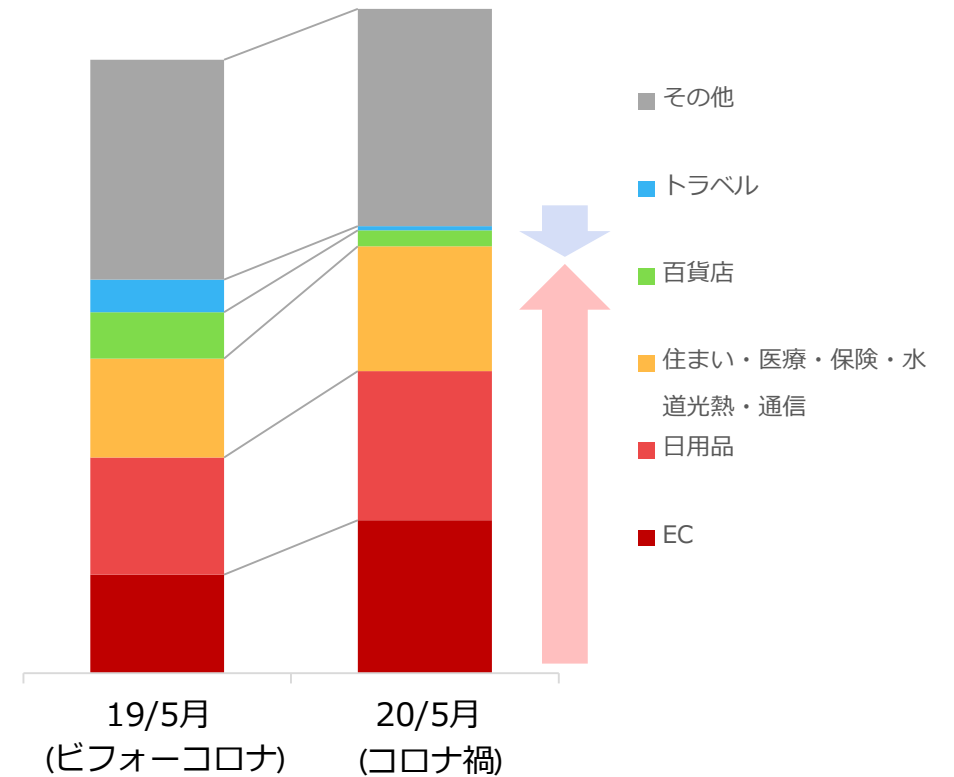
- 楽天カードは新型コロナウイルス禍もプラス成長を維持し、6月には急速に回復
- 生活必需品や光熱費などの利用も多くメインカードとしても利用されている

クレジットカード市場を上回るショッピング取扱高成長率  
(前年同期比)



\*経済産業省、特定サービス産業動態統計調査、クレジットカード業

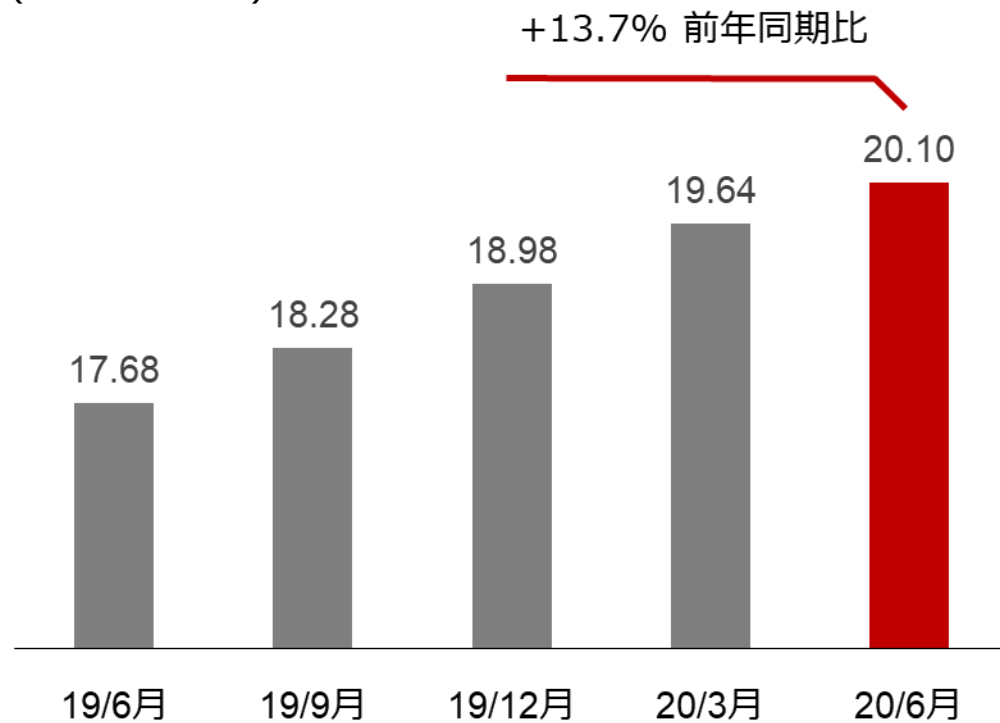
楽天カードショッピング取扱高カテゴリ内訳



# 楽天カード 経営指標\* (1)

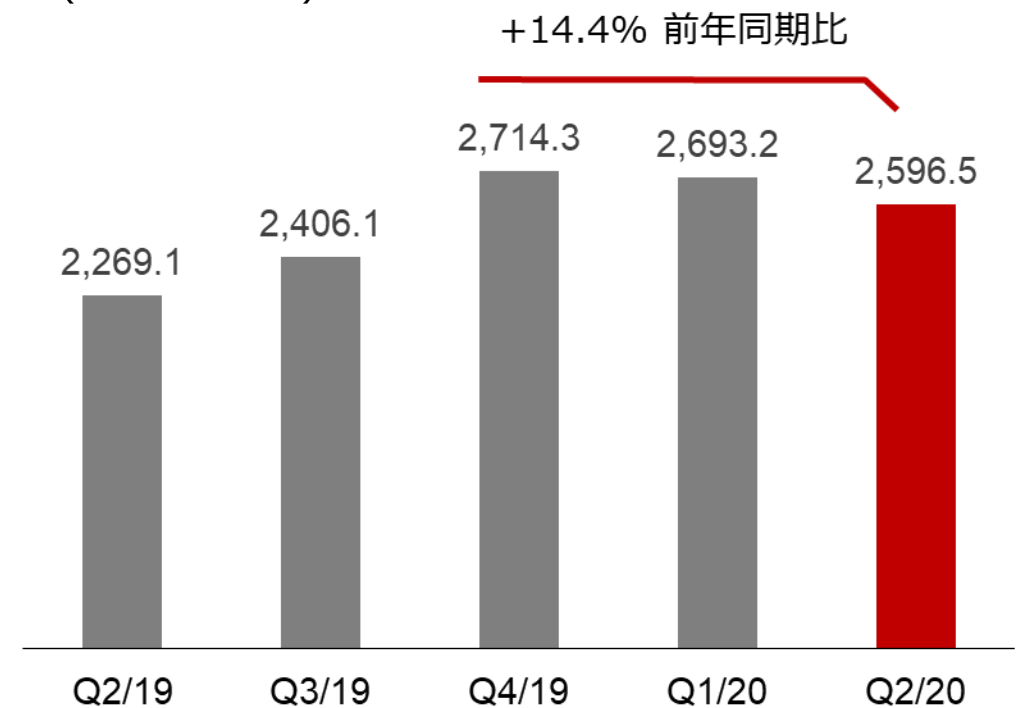
## カード会員数

(単位：百万人)



## ショッピング取扱高

(単位：十億円)

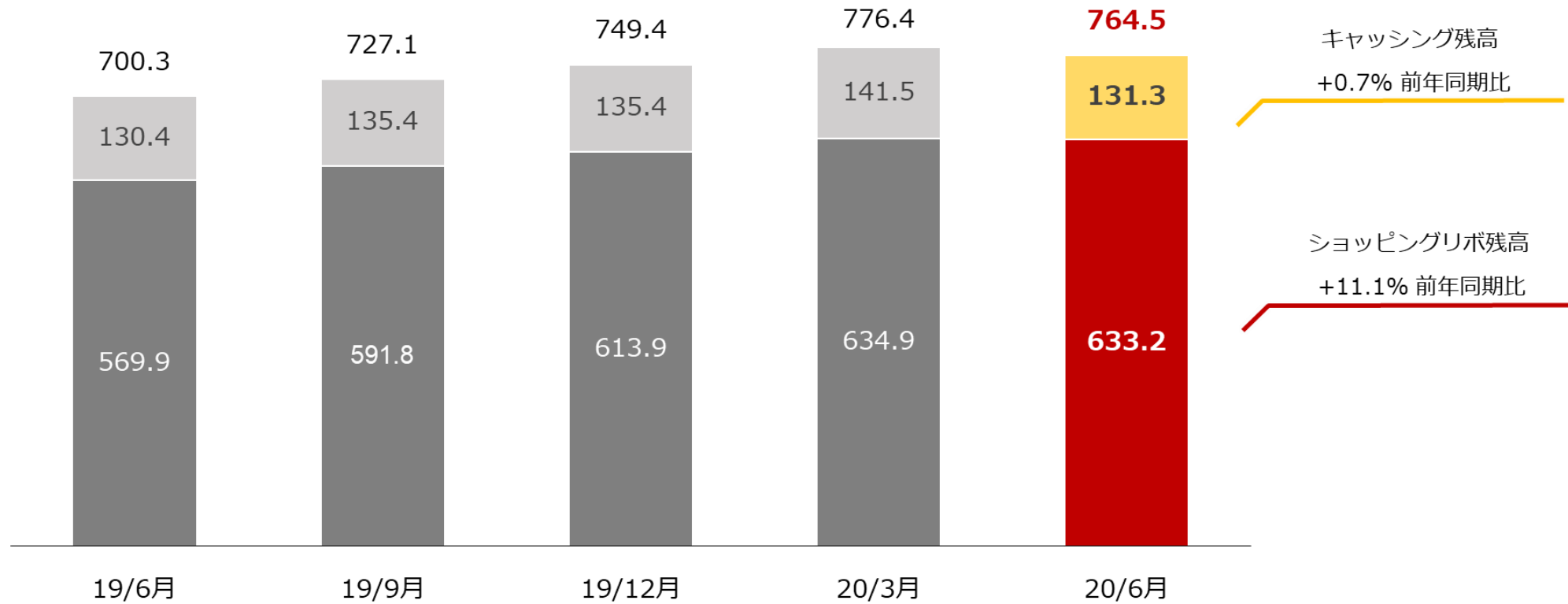


\*管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。

# 楽天カード 経営指標\* (2)

(単位：十億円)

## ショッピングリボ残高及びキャッシング残高



\*管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。リボ残高は元本ベース



# 楽天カード 貸倒関連比率

(単位：百万円)

	Q2/19	Q3/19	Q4/19	Q1/20	Q2/20	前年同期比
貸倒関連費用	9,855	10,326	11,528	9,842	11,809	+19.8%
貸倒関連費用比率 <sup>*1</sup>	2.05%	2.05%	2.13%	1.77%	2.15%	-

	Q2/19	Q3/19	Q4/19	Q1/20	Q2/20	前年同期比
<b>楽天カード</b>	<b>1,565,721</b>	<b>1,683,025</b>	<b>1,874,061</b>	<b>1,802,438</b>	<b>1,831,263</b>	<b>+17.0%</b>
ステージ1 (正常)	1,492,322	1,605,403	1,794,230	1,717,959	1,741,588	+16.7%
ステージ2 (未収1～2ヶ月)	10,276	11,207	11,408	13,451	11,745	+14.3%
ステージ3 (未収3ヶ月以上/貸出条件緩和債権)	63,123	66,415	68,423	71,027	77,930	+23.5%
<b>楽天銀行保証</b>	<b>389,062</b>	<b>388,316</b>	<b>384,469</b>	<b>385,680</b>	<b>371,907</b>	<b>-4.4%</b>
ステージ1 (正常/信用保証債務残高 <sup>*2</sup> )	349,841	348,932	345,922	347,551	333,715	-4.6%
ステージ2 (遅延30日以上/信用保証債務残高 <sup>*2</sup> )	197	212	127	135	83	-57.7%
ステージ3 (求償債権)	39,024	39,172	38,420	37,994	38,109	-2.3%
<b>その他</b>	<b>1,232</b>	<b>1,144</b>	<b>1,065</b>	<b>1,010</b>	<b>963</b>	<b>-21.9%</b>
<b>債権残高・保証残高 合計</b>	<b>1,956,015</b>	<b>2,072,485</b>	<b>2,259,594</b>	<b>2,189,128</b>	<b>2,204,133</b>	<b>+12.7%</b>
引当金残高 <sup>*3</sup>	91,180	93,504	94,265	95,109	99,504	+9.1%
貸倒償却額 <sup>*4</sup>	8,966	8,002	10,766	8,999	7,416	-17.3%

\*1 貸倒関連費用比率 = 貸倒関連費用 ÷ 債権残高・保証残高合計の期首期末平均 × 4

\*2 楽天銀行における楽天銀行スーパーローン残高のうち、楽天カードが信用保証する残高

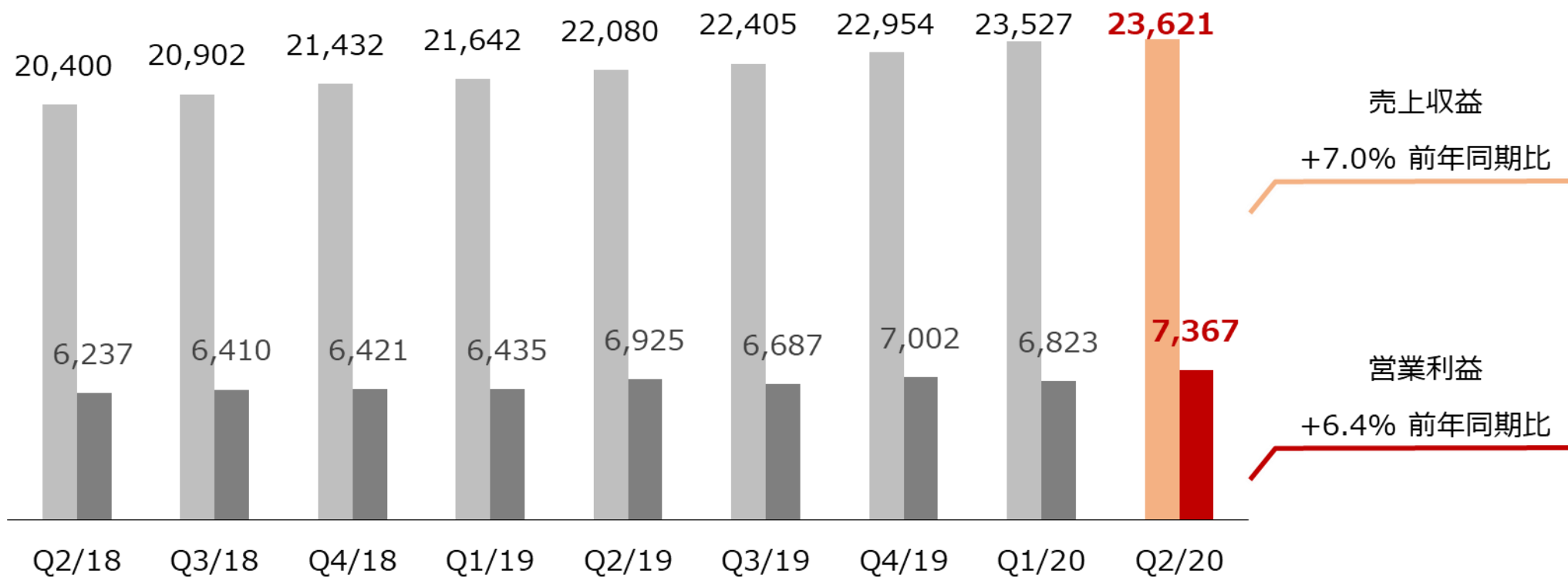
\*3 債務保証損失引当額を含む

\*4 貸倒償却には債権譲渡損を含む

# 楽天銀行 四半期業績推移

- 貸出金残高及び役務取引等の増加により、売上収益は前年同期比+7.0%達成

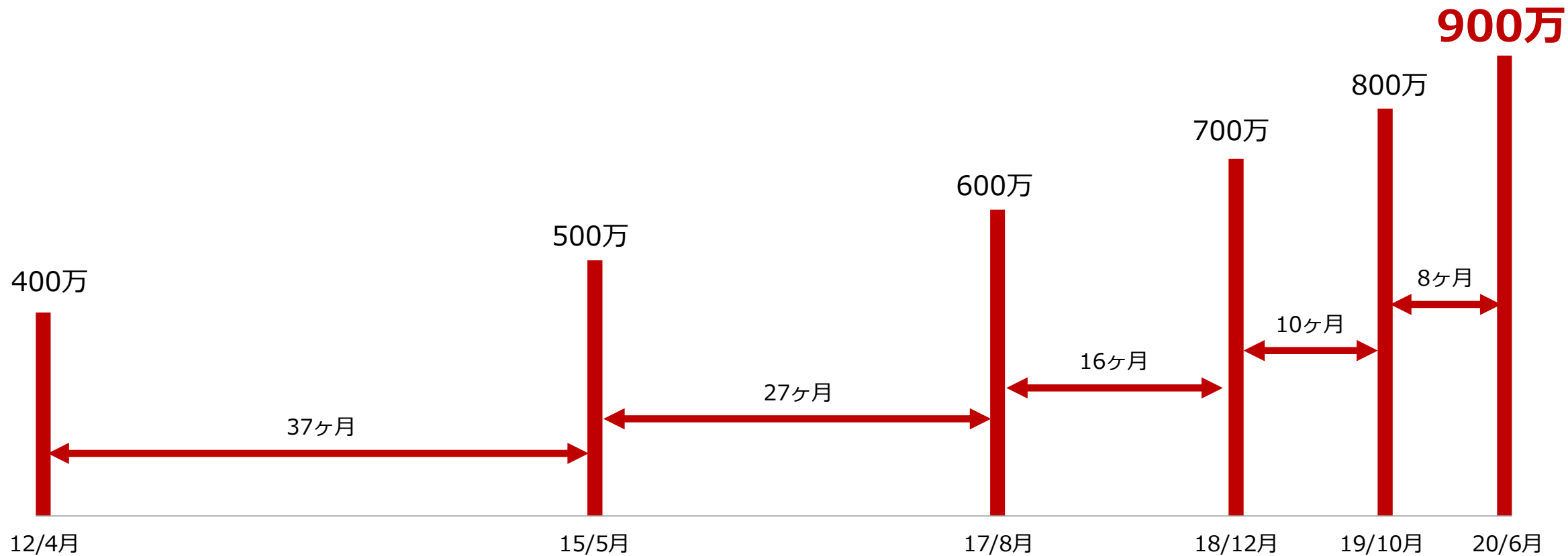
(単位：百万円)



\* Q2/20に台湾における現地合併会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化、上記PLには未反映。

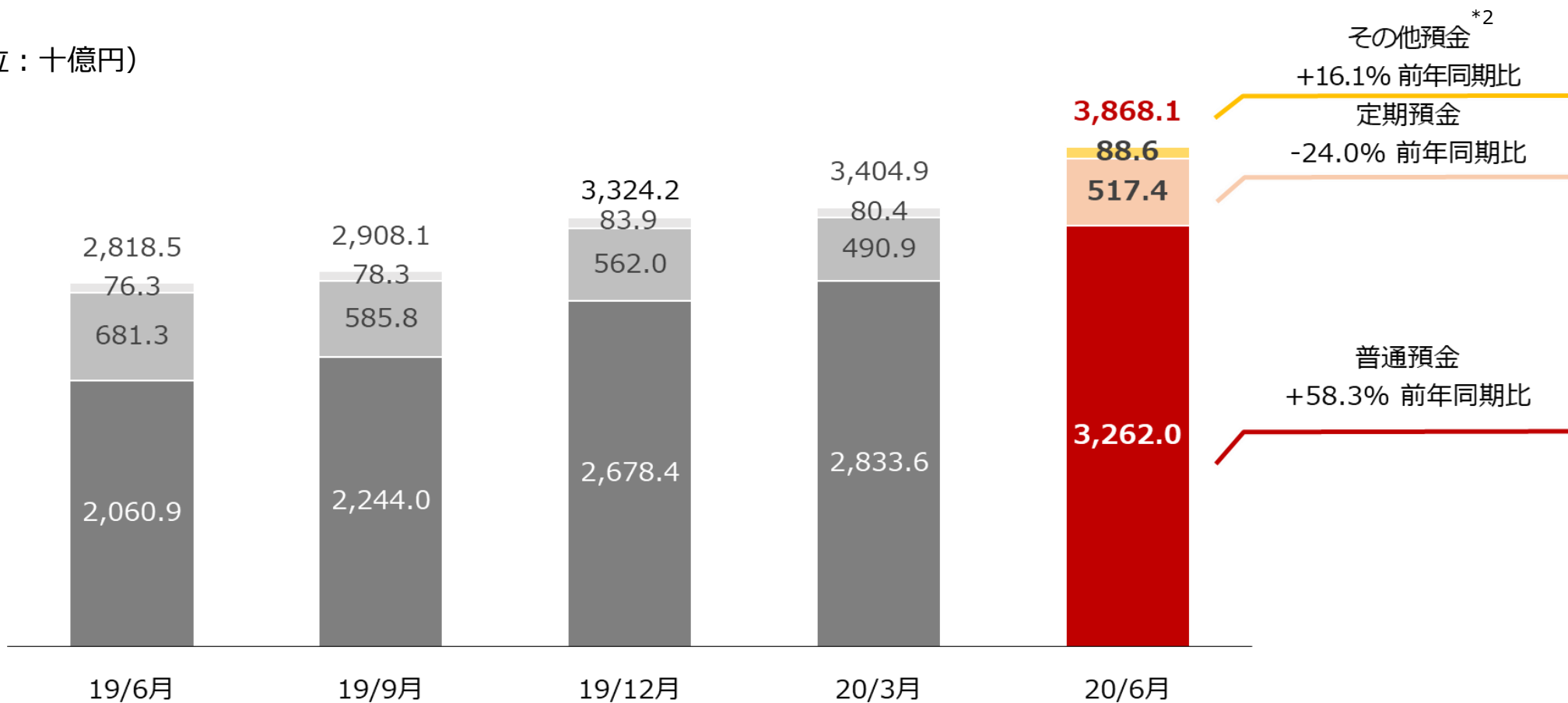
# 楽天銀行900万口座突破

- 楽天銀行は20年6月に900万口座に到達、引き続き拡大中



# 楽天銀行 預金残高推移\*1

(単位：十億円)

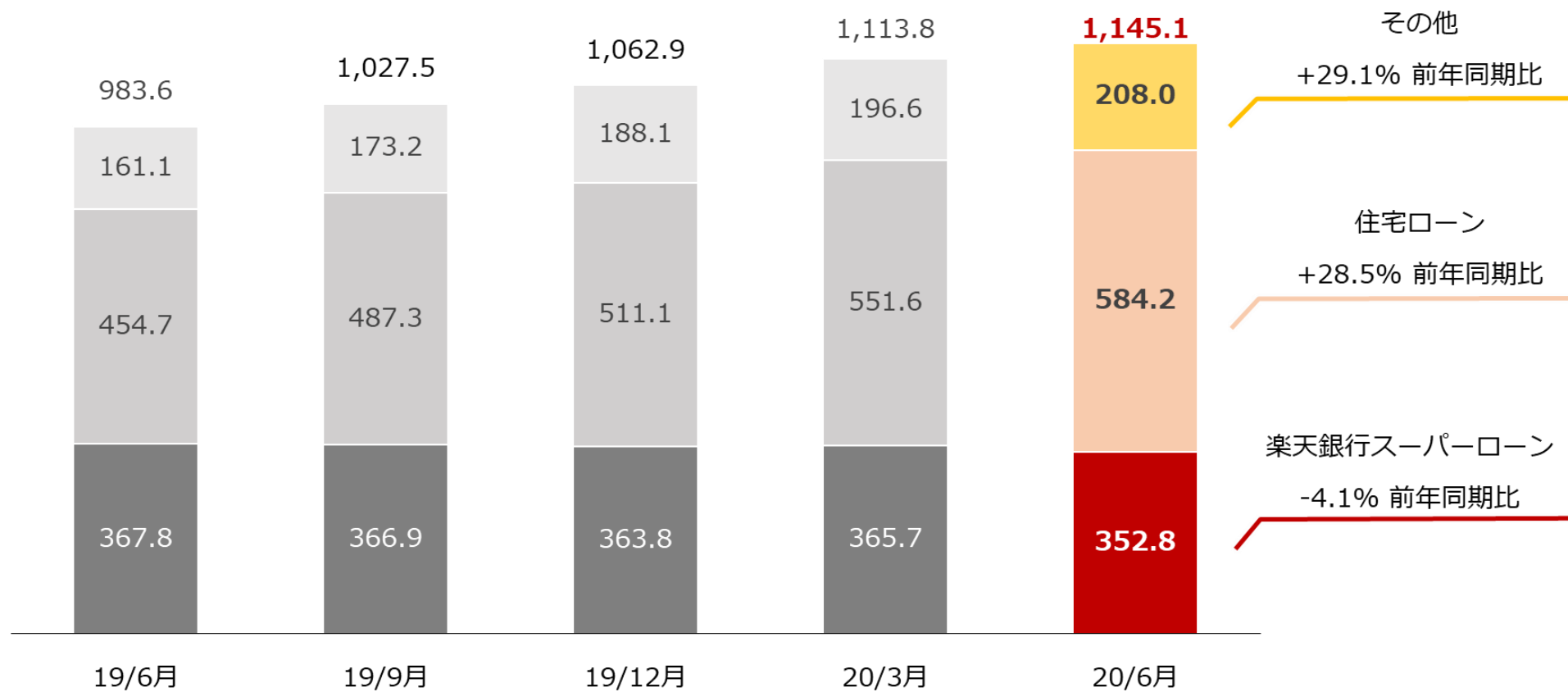


\*1 預金残高はIFRSベース（定期預金は、特約定期預金のデリバティブを含む）。楽天銀行連結ベース

\*2 その他預金には別段預金その他、外貨預金等を含む

# 楽天銀行 貸出金残高推移

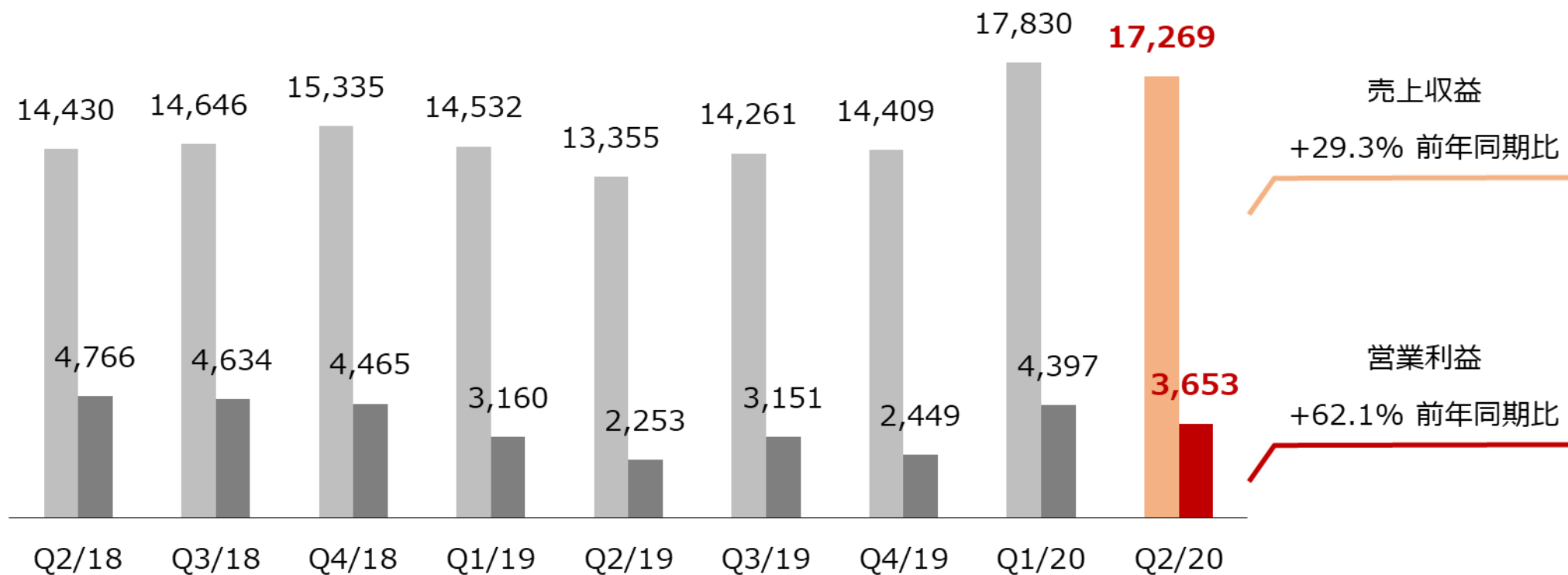
(単位：十億円)



# 楽天証券 四半期業績推移

- 株式及びFXの取引量増加により、売上収益は前年同期比+29.3%、営業利益は前年同期比+62.1%を達成

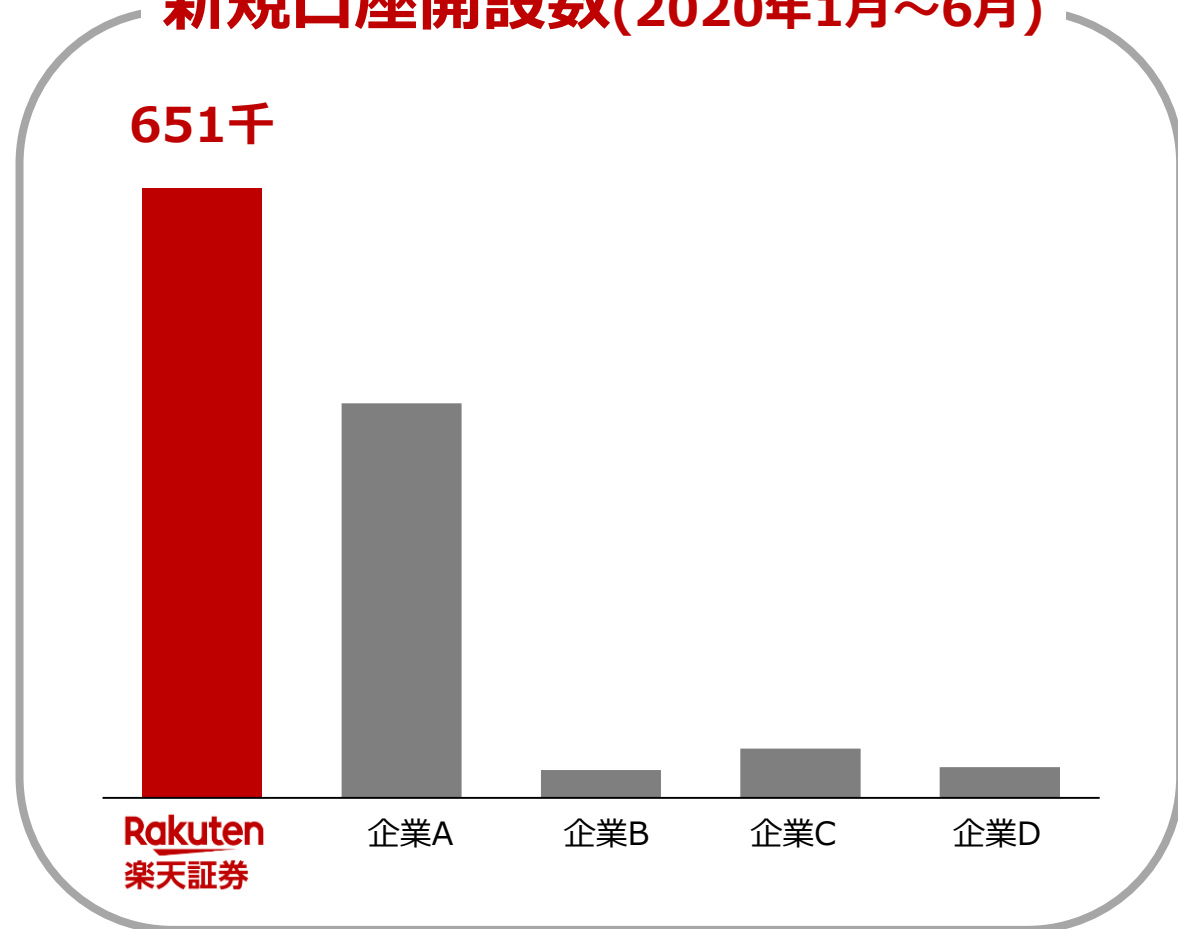
(単位：百万円)



# 楽天証券 新規口座数

- 2020年（2020年1月～6月）に開設された新規口座数は過去最高を達成
- eKYC 対応で口座開設がウェブ完結に(5/10～)

## 新規口座開設数(2020年1月～6月)



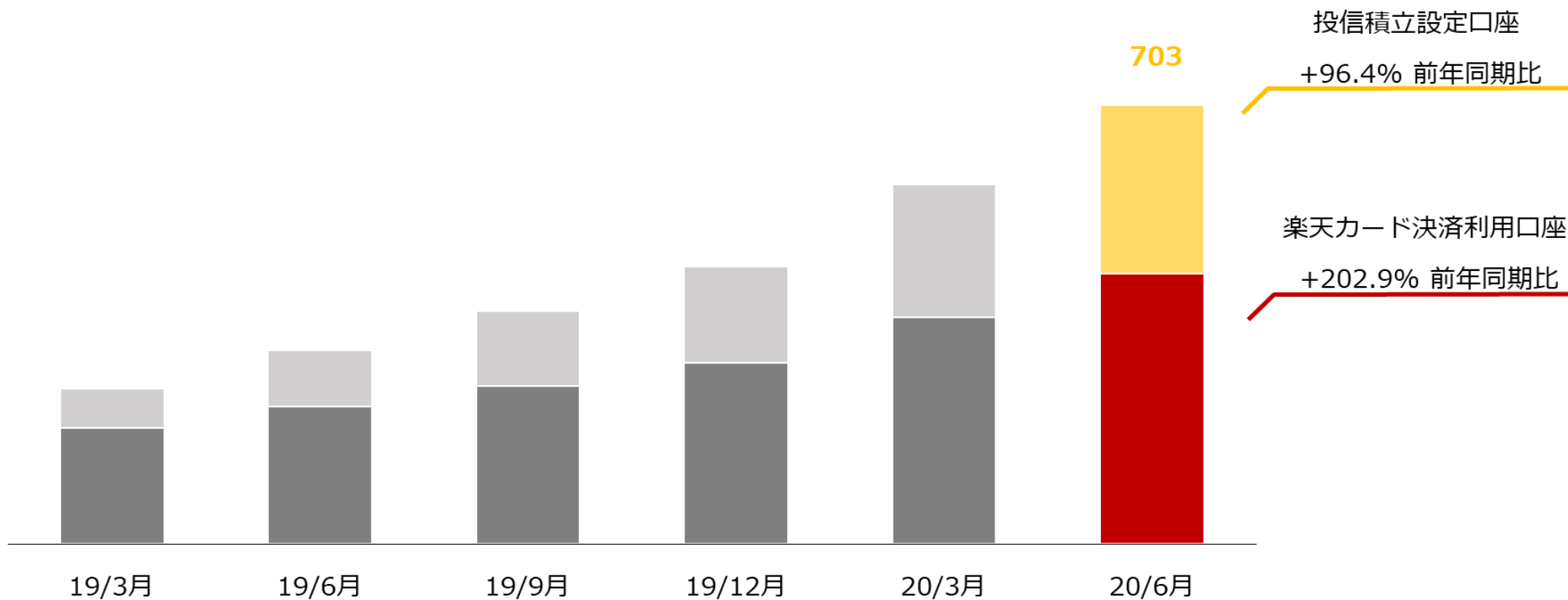
## eKYC 対応で口座開設がウェブ完結に



# 楽天証券 投信積立口座数の増加

- 積立投信の楽天カード決済でのポイント付与やポイント投資等の施策により、投信積立設定口座数、楽天カードによる支払いが増加

(単位：千口座)

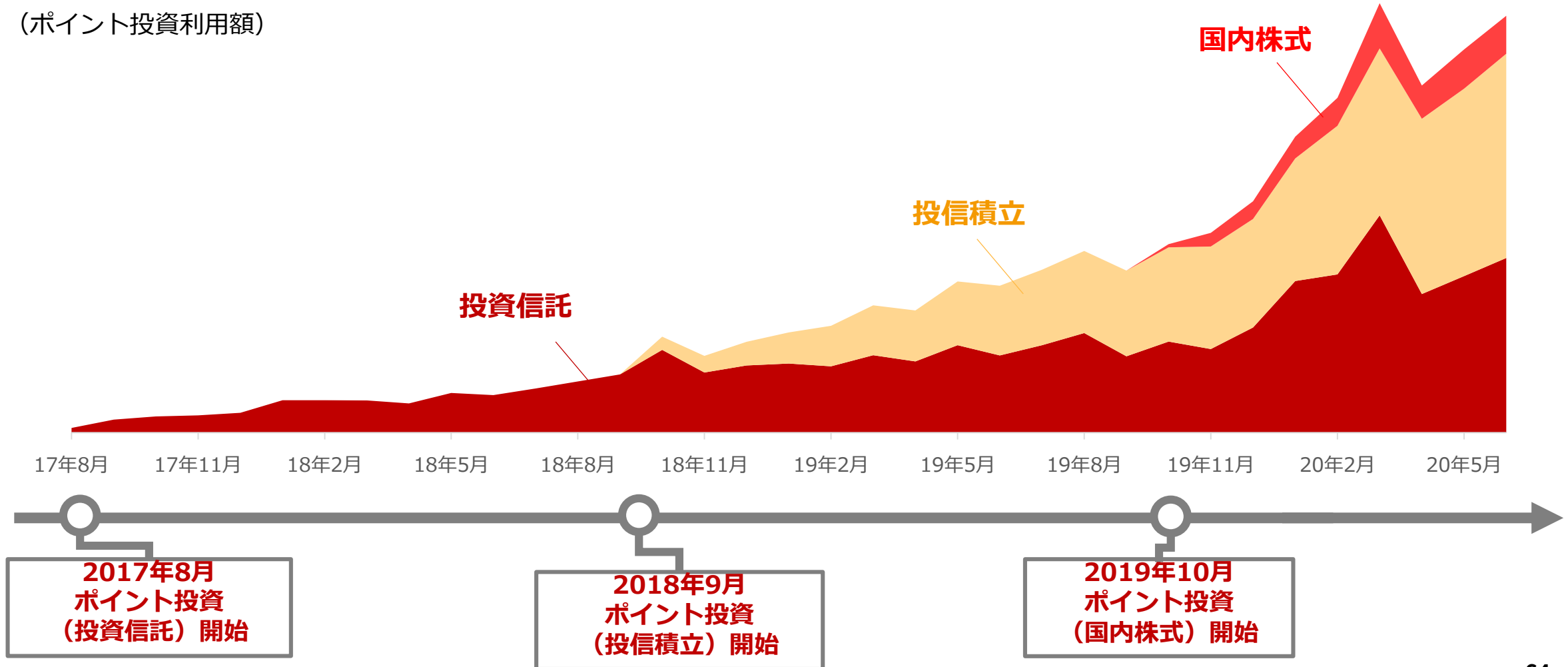




# 楽天証券 ポイント投資

## ■ ポイント投資利用額は堅調に増加

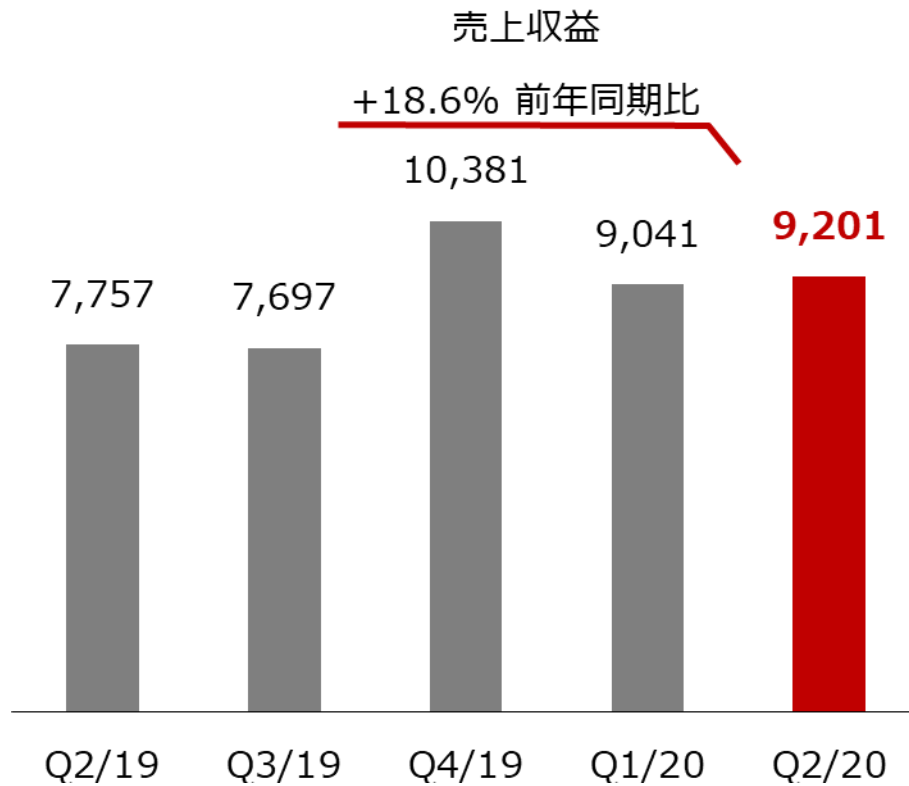
(ポイント投資利用額)



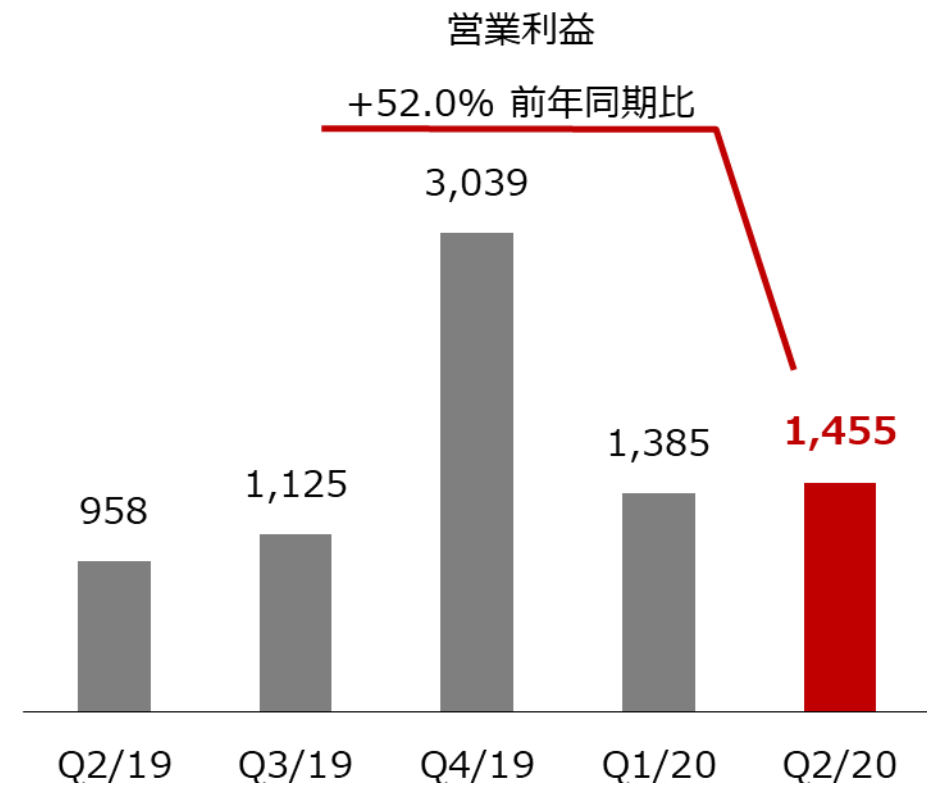
# 楽天生命 四半期業績推移

- 新契約増、コスト削減、リスクコントロールのための再保険等により営業利益が増加

(単位：百万円)

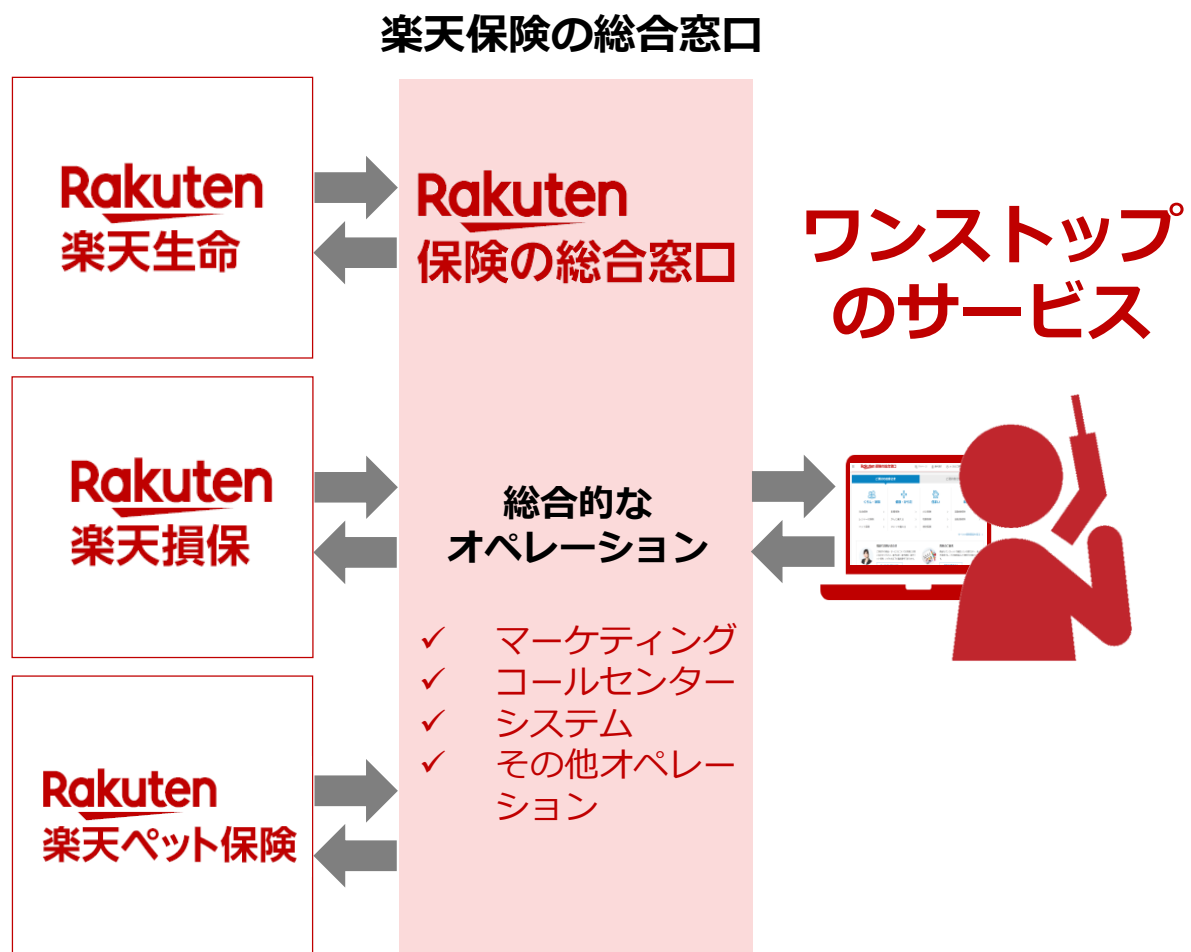


(単位：百万円)

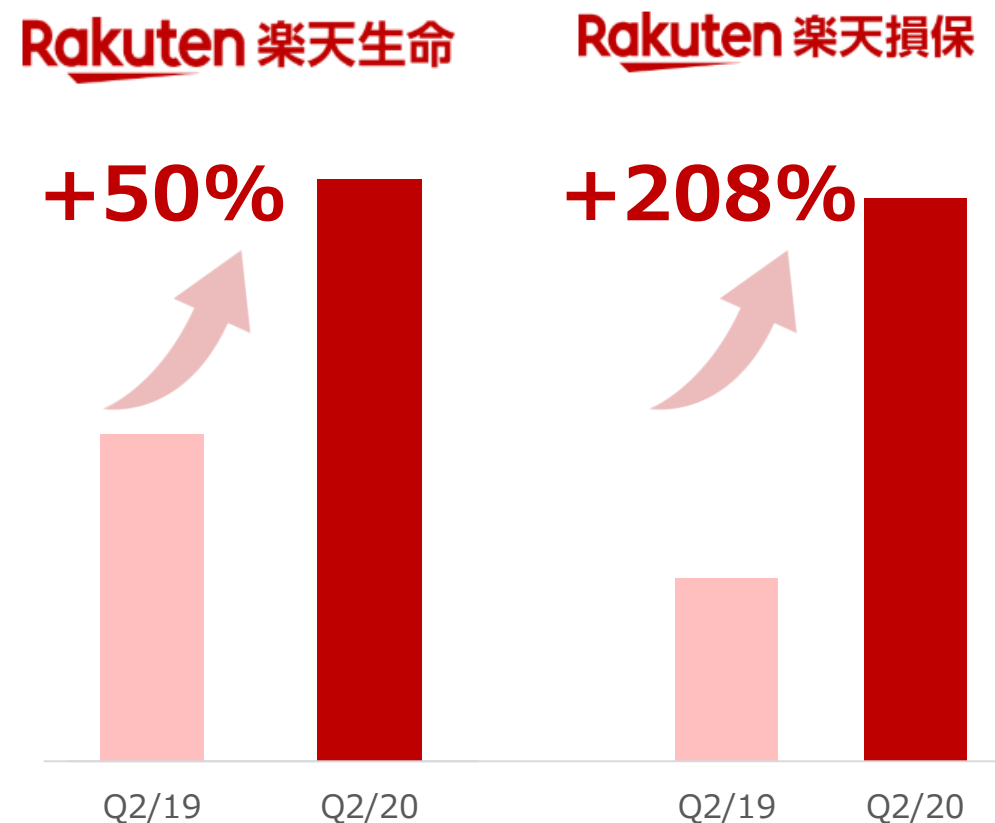


# 保険 インターネット申込新契約年換算保険料の増加

- “楽天保険の総合窓口” は、生命保険、損害保険、およびペット保険のワンストップサービスを提供
- インターネット申込の新契約年換算保険料は着実に増加（損害保険は前年同期比+208%）



インターネット申込新契約年換算保険料 (前年同期比)



# 加速するキャッシュレス時代における戦略

ID

## 共通ID

多様な支払手段の提供

- ✓ クレジットカード
- ✓ デビットカード
- ✓ 電子マネー
- ✓ QRコード/バーコード
- ✓ ポイントカード

楽天ポイント

## No.1

総合満足度調査

- ✓ もらって一番嬉しいポイント
- ✓ 一番使っているポイント
- ✓ 一番貯めているポイント



加盟店網

約 **5**百万

オンライン&オフラインの利用可能箇所



**1**百万\*

交通系電子マネー利用可能箇所



\*マイボイスコム 2020年7月 ポイントに関する調査

\*2020年6月末時点

# 新施策：楽天ペイ - Suica連携

## Suicaは日本最大級の交通系電子マネー

2020年5月25日リリース

今後リリース予定

- 楽天ペイアプリで  
Suicaの発行



サービス開始画面

- Suicaチャージで  
楽天ポイントが貯まる



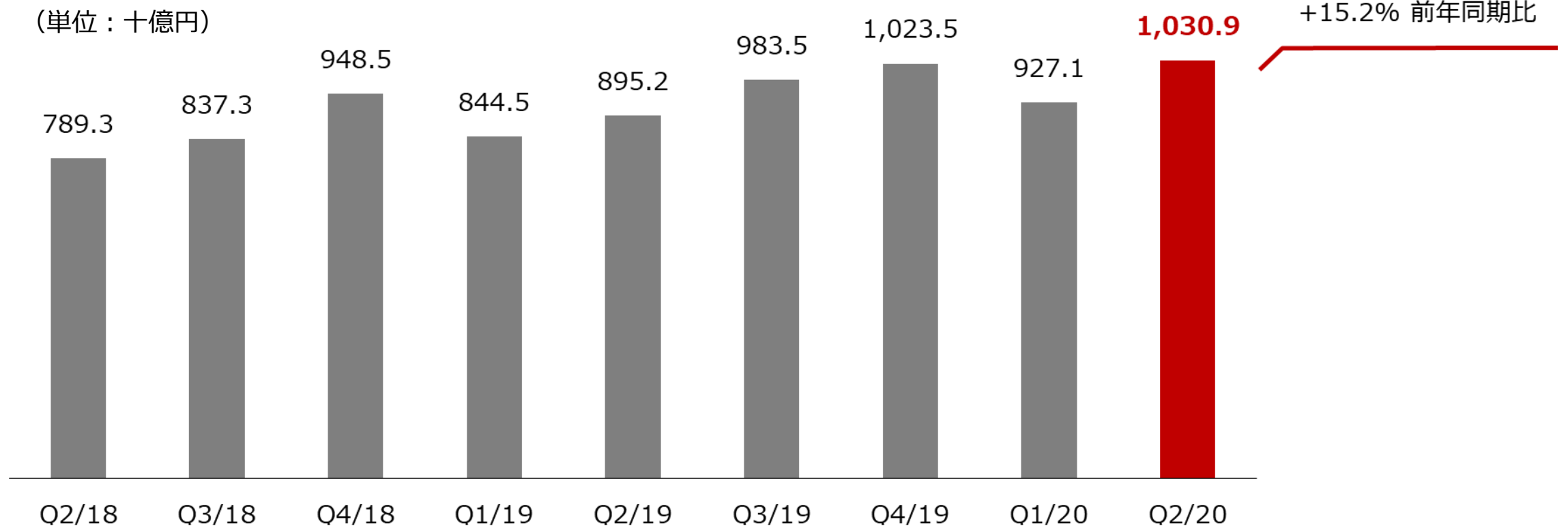
チャージ完了画面

- 楽天ポイントから  
Suicaへのチャージが可能に



# インターネットサービスセグメント

# 国内EC 流通総額\*1\*2



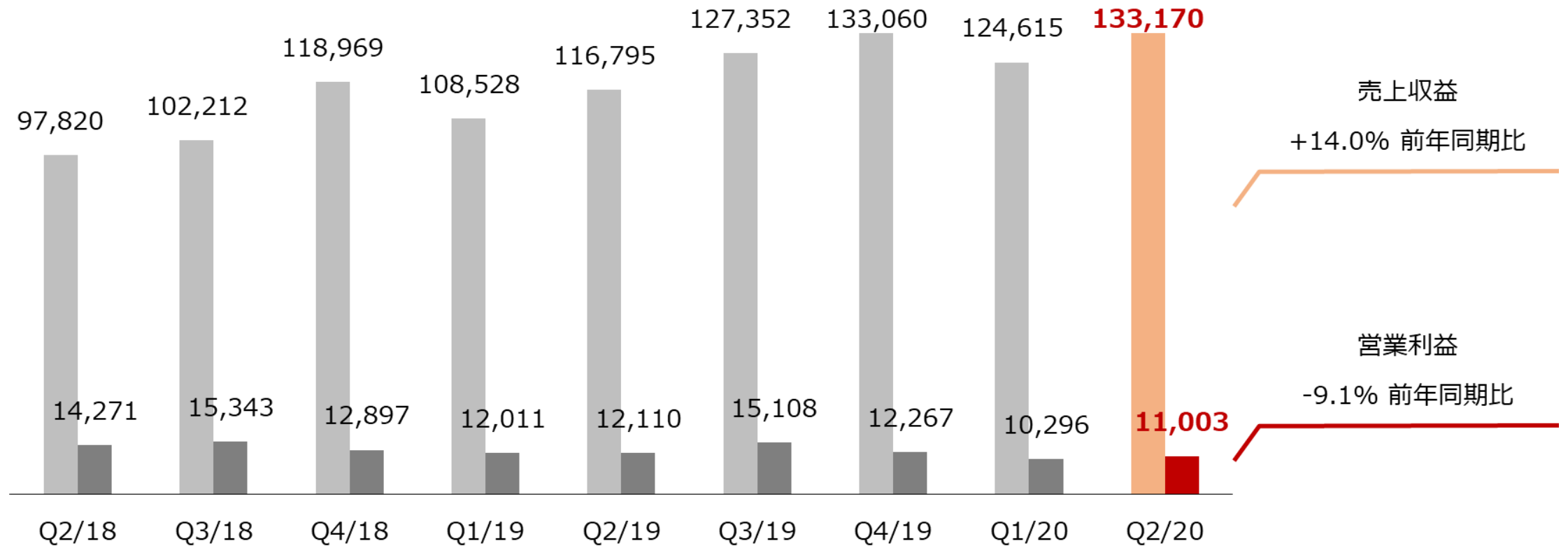
\*1 国内EC流通総額（一部の非課税ビジネスを除き、消費税込み）＝市場、トラベル（宿泊流通）、ブックス、ゴルフ、チケット、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、楽天24（ダイレクト）、オートビジネス、ラクマ、Rebates、楽天西友ネットスーパー等の流通額の合計

\*2 Q1/20より、一部事業において内部取引消去を行ったため、数値を遡及修正

# 国内EC 四半期業績推移\*

- 新型コロナウイルスによるトラベル事業等へのマイナス影響を受けるも、市場等のEC事業が牽引し、売上高は前年同期比+14.0%と力強く成長。営業利益は物流への投資により、前年同期比-9.1%

(単位：百万円)

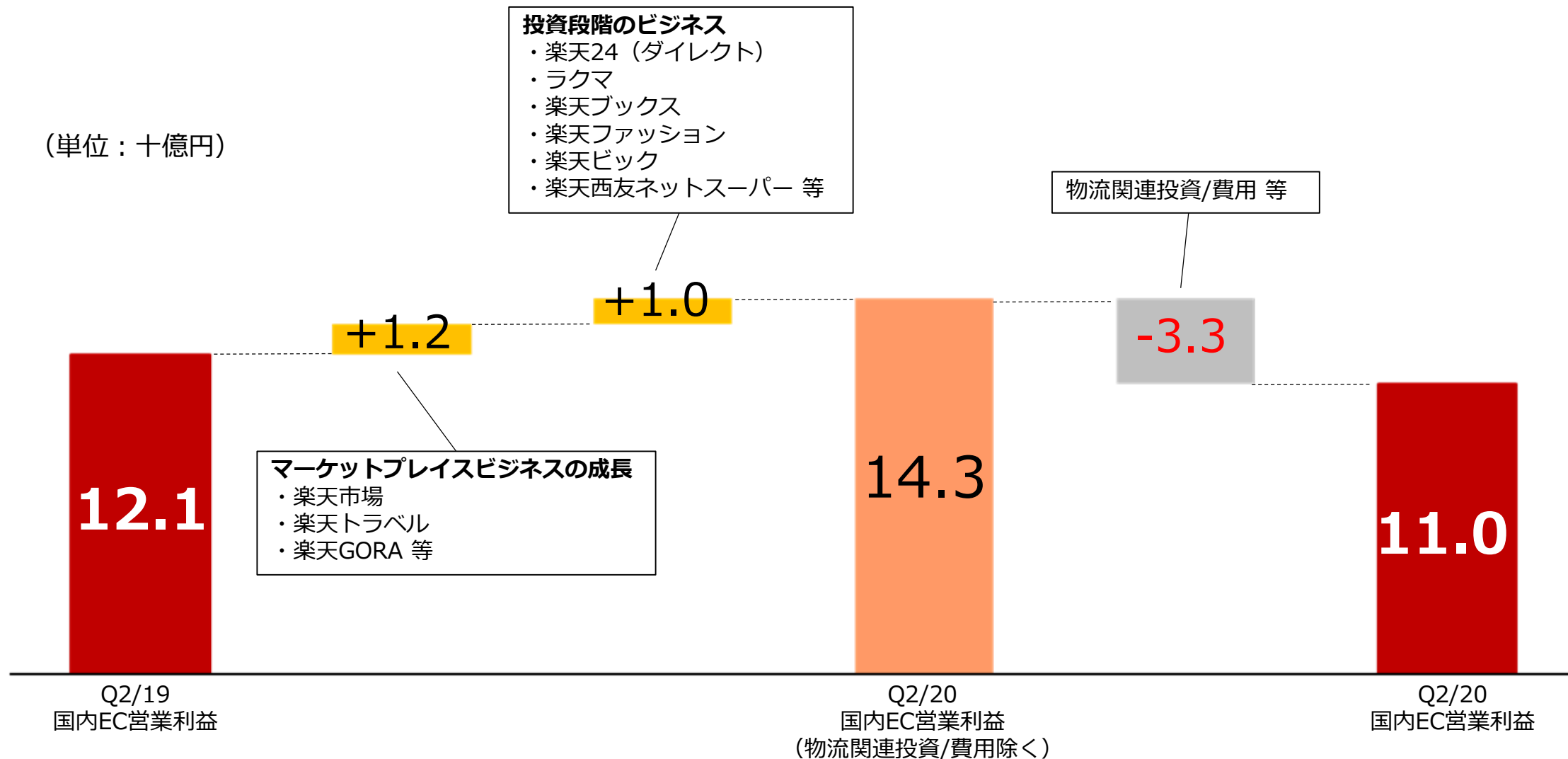


\*国内EC=市場、トラベル、ボックス、ゴルフ、チケット、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、楽天24(ダイレクト)、物流、オートビジネス、ラクマ、Rebates等

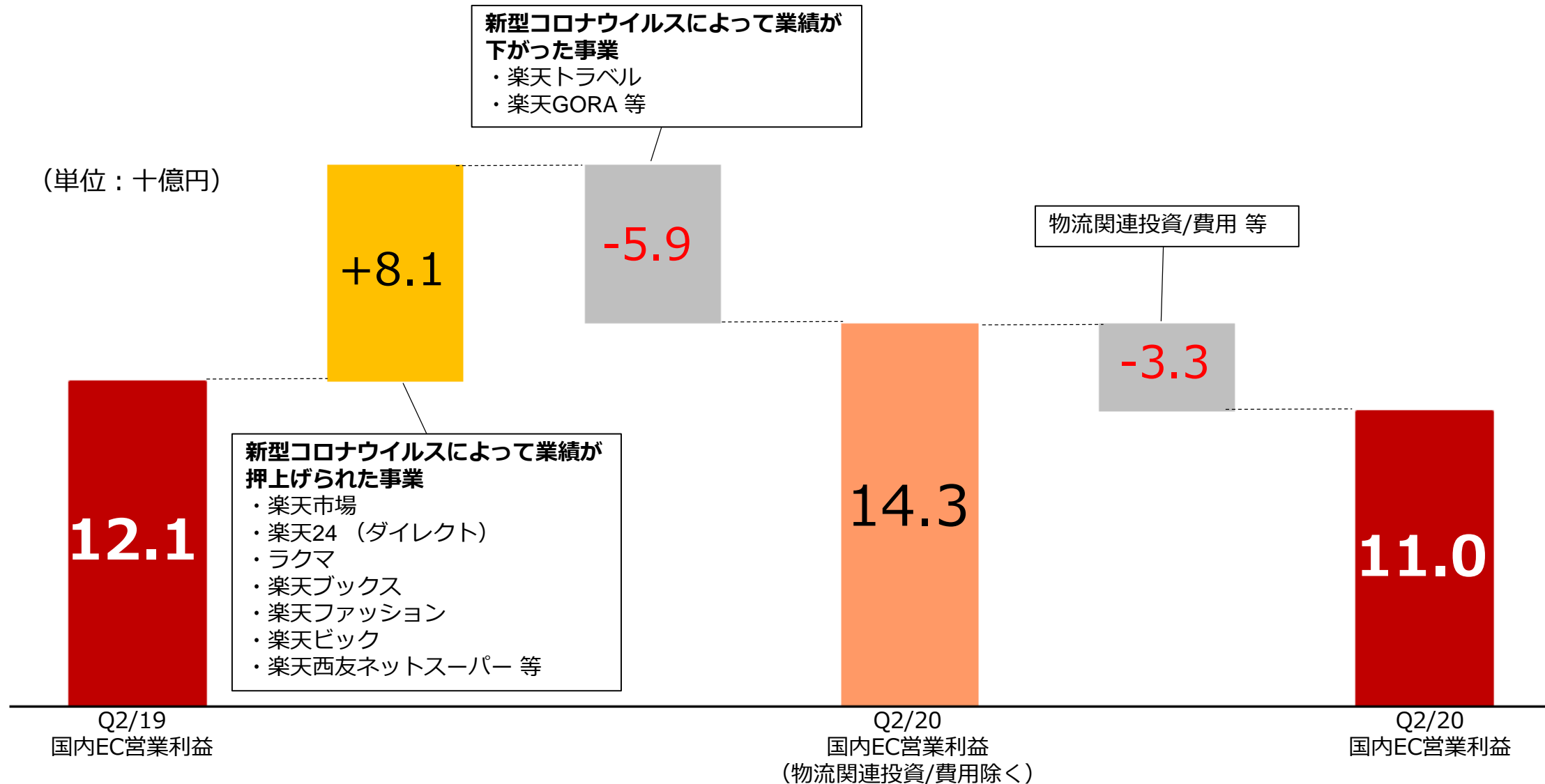


# Q2/20 国内EC営業利益詳細

(単位：十億円)



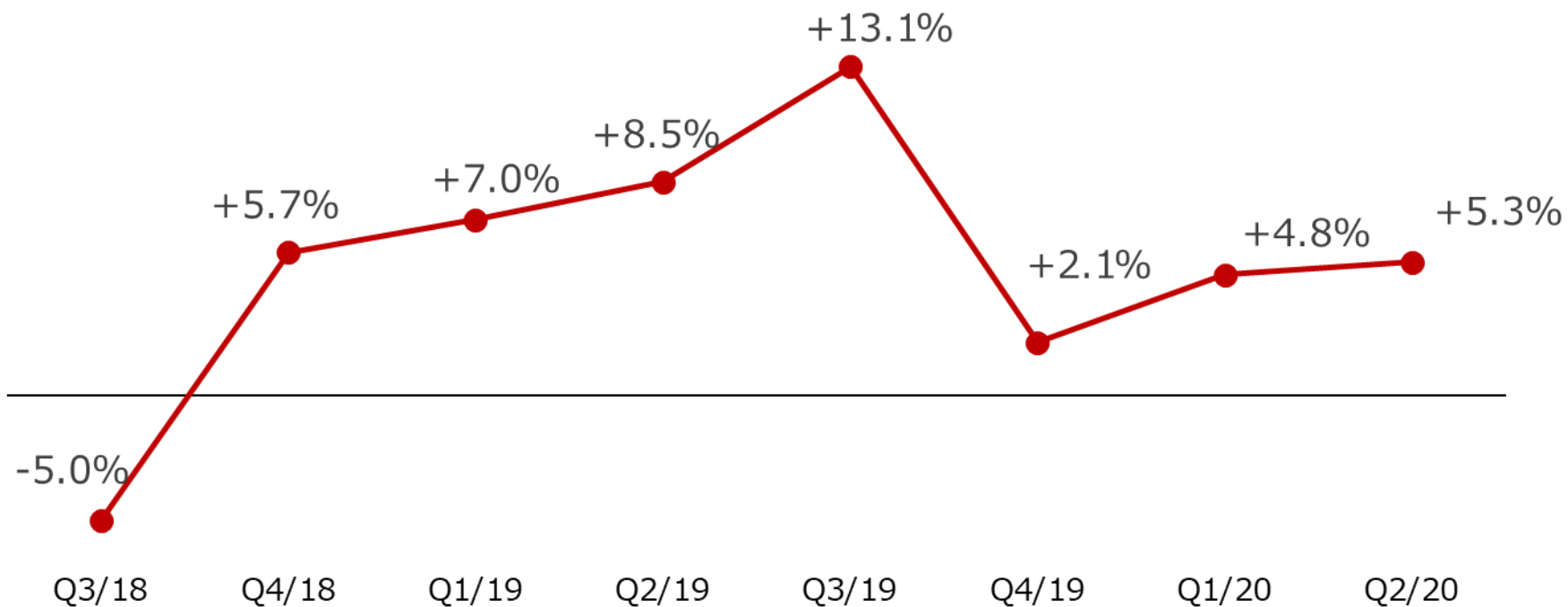
# Q2/20 国内EC営業利益詳細



# 国内EC マーケットプレイスビジネス\* 営業利益 前年比推移

- 新型コロナウイルスによるトラベル事業へのマイナス影響がありつつも、前年同期比5.3%増とプラス成長を継続

(前年同期比)



\* マーケットプレイスビジネス=市場、トラベル、ゴルフ、ドリームビジネス等

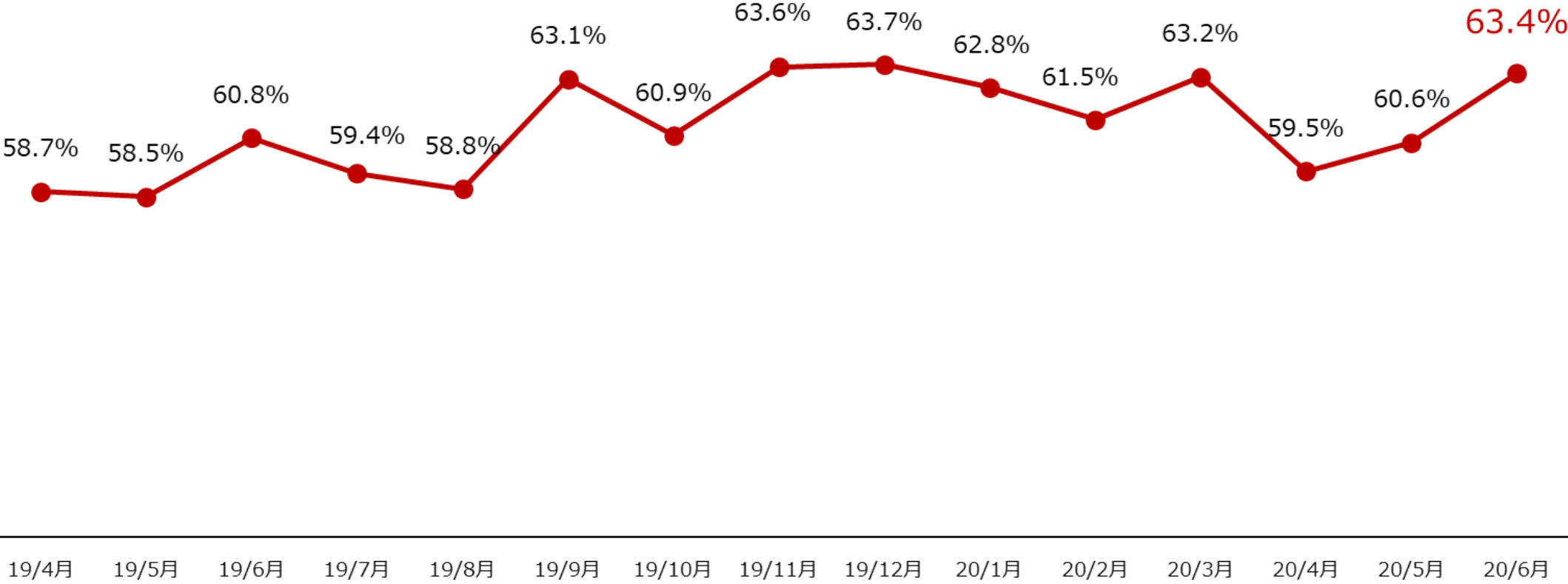
## Q2/20 楽天市場モバイル流通総額比率\*

# 76.4%

+2.3ポイント 前年同期比

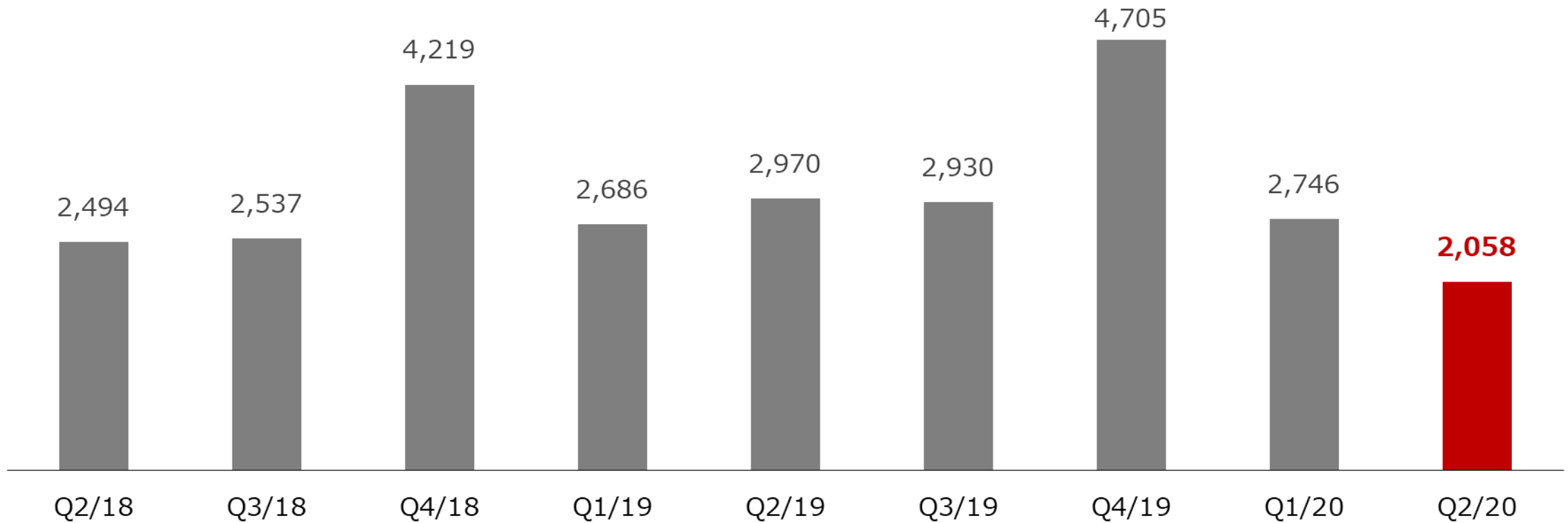
\*モバイル流通総額比率 = 楽天市場モバイル流通総額 / 楽天市場流通総額合計 (スマートフォン、タブレットを含む)

# 楽天市場流通総額における楽天カード決済比率



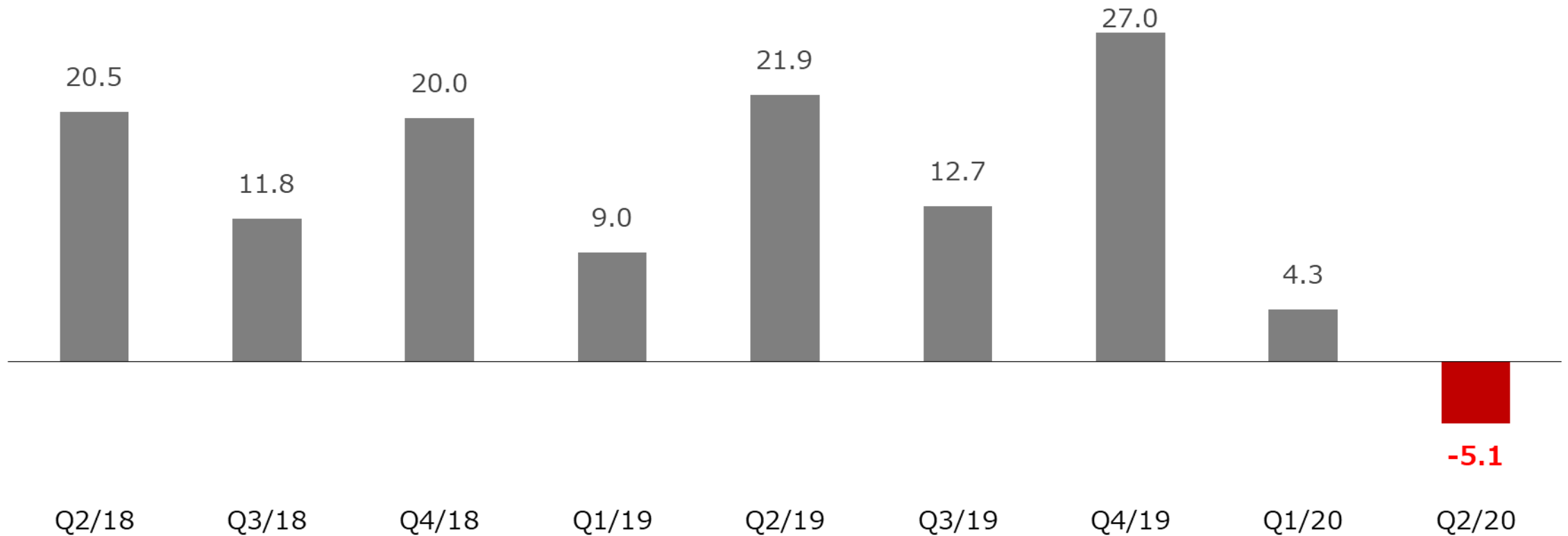
# Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額

(単位：百万米ドル)



# Rakuten Rewards (Ebates) 営業利益推移\*

(単位：百万米ドル)

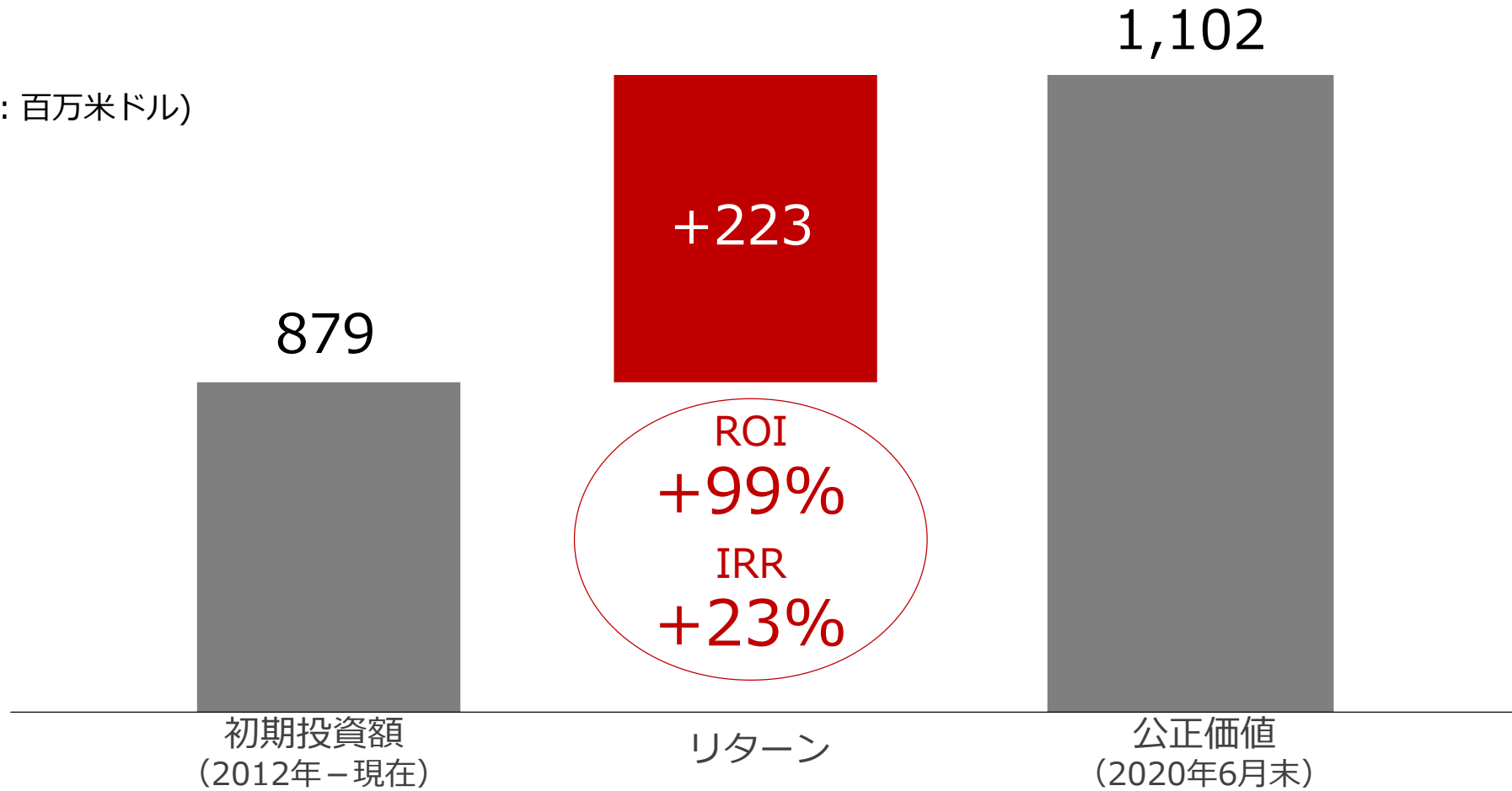


\*リブランディング費用36.3百万米ドル(Q1/19)、30.4百万米ドル(Q2/19)、20.4百万米ドル(Q3/19)、27.4百万米ドル(Q4/19)、5.2百万米ドル(Q1/20)、及び5.1百万米ドル(Q2/20)を除く

\*社内における配賦費用の付け替え等に伴い営業利益を変更しており、過去の営業利益も遡及修正済み

# 投資事業のパフォーマンス\*

(単位：百万米ドル)



\*Lyftと楽天メディカルは、インキュベーションビジネスへの移管によりポートフォリオには含まないが、エグジットした投資としてリターンには含む

\*Lyftと楽天メディカルを除いたリターン：ROI +68%、IRR +14% (一部、集計対象を変更)



# 投資事業ポートフォリオ

## インターネット

SHOPBACK

 carousell



frOm scratch

 OneSignal

epic!

## フィンテック

 BlueVine

 Upstart

TORANOTEC

## ライドシェア

Careem

Glovo?

lyft<sup>\*</sup>  
(関連会社)

 gojek

 cabify

## ヘルスケア

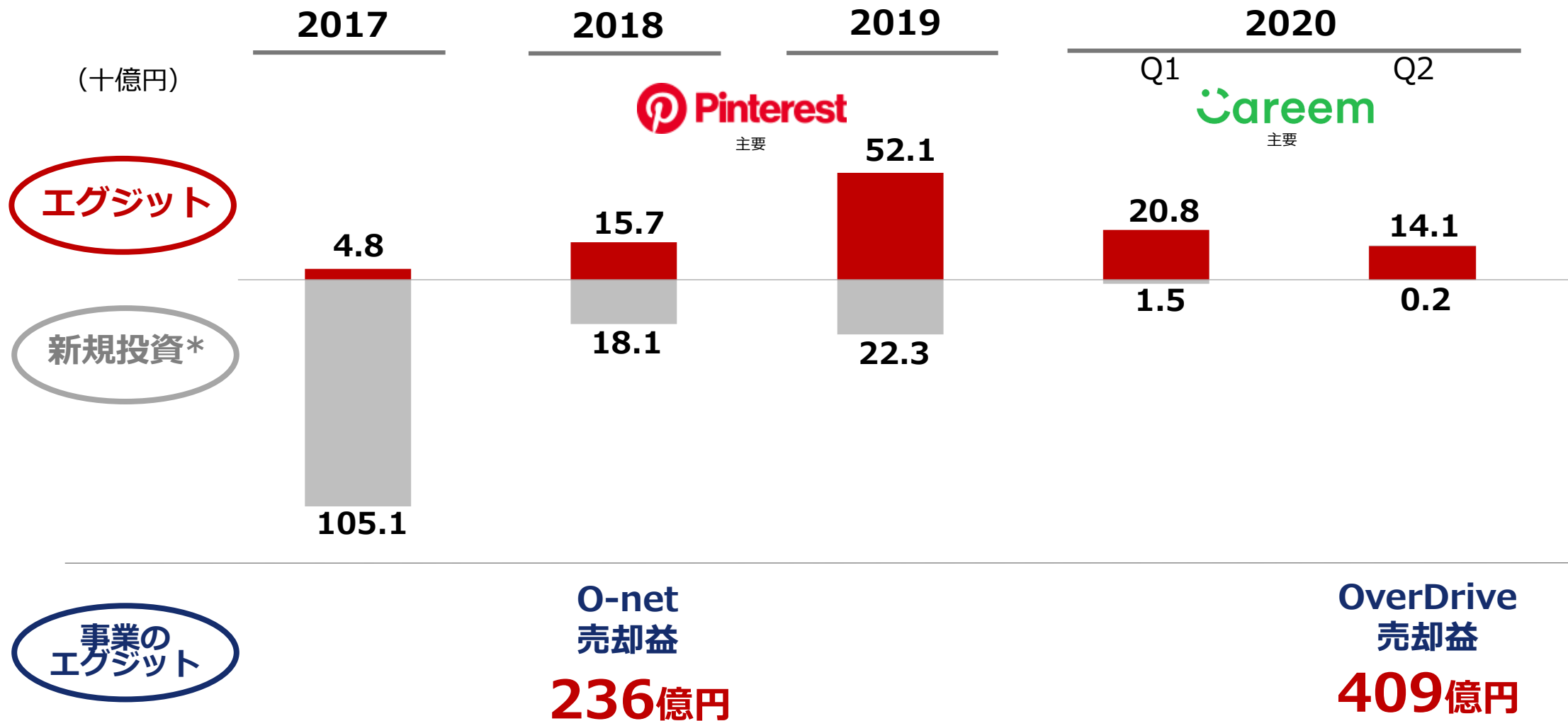
Rakuten Medical<sup>\*</sup>  
(関連会社)

 airweave

Genesis Healthcare

\* Lyftおよび楽天メディカルは、それぞれ2019年4月と9月に投資事業から移管、純投資から戦略投資へ変更済み

# 投資と事業のエグジット推移



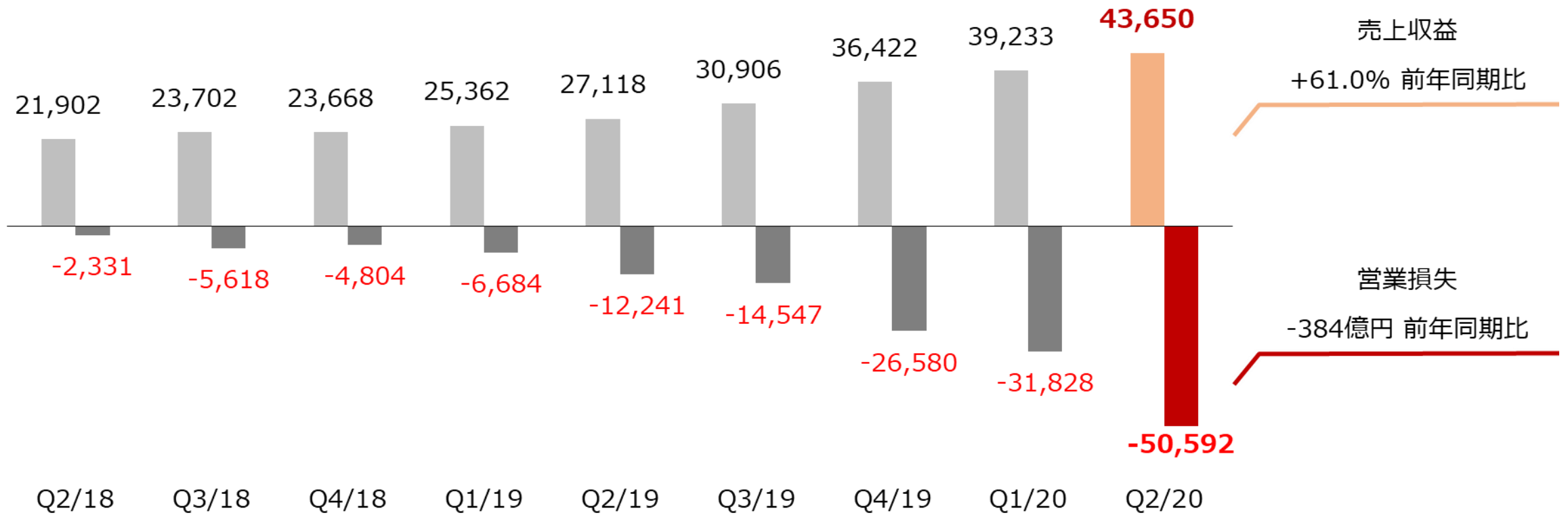
\* 追加投資を含む

# モバイルセグメント

# モバイル 四半期業績推移\*

- 基地局建設加速に伴い、減価償却費等が増加

(単位：百万円)



\* モバイルセグメントは楽天コミュニケーションズ、MNO事業、MVNE/O事業、Rakuten Viber、エナジー事業により構成

# モバイルバランスシート

(百万円, JPY mm)

IFRS貸借対照表, Balance Sheet (IFRS)	Q2/20
資産, Assets	
有形固定資産, Fixed assets	268,954
無形資産, Intangible assets	44,096
その他の資産, Other assets	155,852
資産合計, Total Assets	468,902
負債及び資本, Liabilities and net assets	
借入金, Borrowings *	99,330
リース債務, Lease liabilities**	79,875
その他の負債, Other liabilities	110,104
負債合計, Total liabilities	289,309
資本合計, Total net assets	179,594
負債及び資本合計, Total liabilities and net assets	468,902

\* 借入金には主にリースファイナンスによる負債が計上されています

\*\* リース債務には、IFRS16による賃借料等の将来に渡る見込債務が計上されています

\*\*\* 現在の資本注入額2,400億円に加え、1,100億円の追加資本注入を計画。（総額3,500億円）

# 楽天モバイル実店舗ネットワーク

2020年7月時点  
店舗数

570

## 九州・沖縄エリア

福岡県：14店舗  
佐賀県：2店舗  
長崎県：5店舗  
熊本県：5店舗  
大分県：3店舗  
宮崎県：3店舗  
鹿児島県：4店舗  
沖縄県：9店舗

合計：45店舗

## 四国エリア

徳島県：2店舗  
香川県：3店舗  
愛媛県：4店舗  
高知県：1店舗

合計：10店舗

## 中国エリア

鳥取県：2店舗  
島根県：2店舗  
岡山県：8店舗  
広島県：17店舗  
山口県：7店舗

合計：36店舗

## 北陸/甲信越エリア

新潟県：12店舗  
富山県：5店舗  
石川県：4店舗  
福井県：3店舗  
山梨県：3店舗  
長野県：9店舗

合計：36店舗

## 北海道/東北エリア

北海道：13店舗  
青森県：4店舗  
岩手県：3店舗  
宮城県：11店舗  
秋田県：3店舗  
山形県：2店舗  
福島県：5店舗

合計：41店舗

## 関東エリア

茨城県：9店舗  
栃木県：3店舗  
群馬県：8店舗  
埼玉県：31店舗  
千葉県：30店舗  
東京都：86店舗  
神奈川県：38店舗

合計：205店舗

## 関西エリア

滋賀県：5店舗  
京都府：12店舗  
大阪府：57店舗  
兵庫県：36店舗  
奈良県：7店舗  
和歌山県：3店舗

合計：120店舗

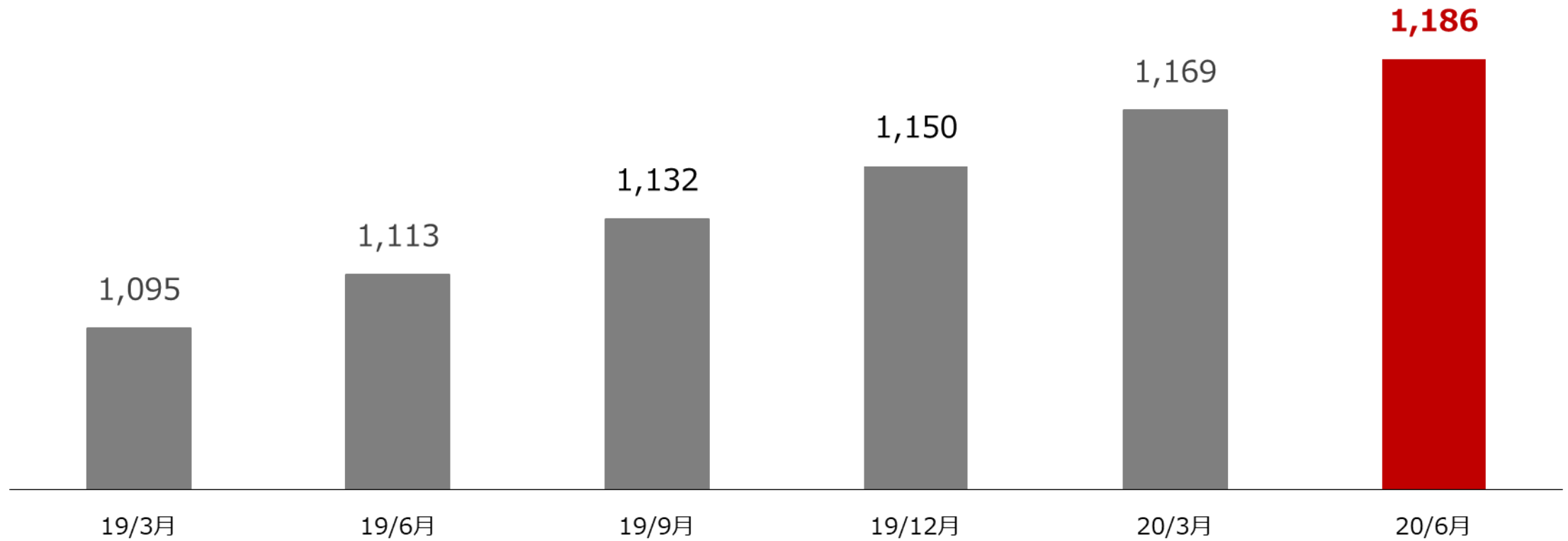
## 東海エリア

岐阜県：10店舗  
静岡県：14店舗  
愛知県：42店舗  
三重県：11店舗

合計：77店舗

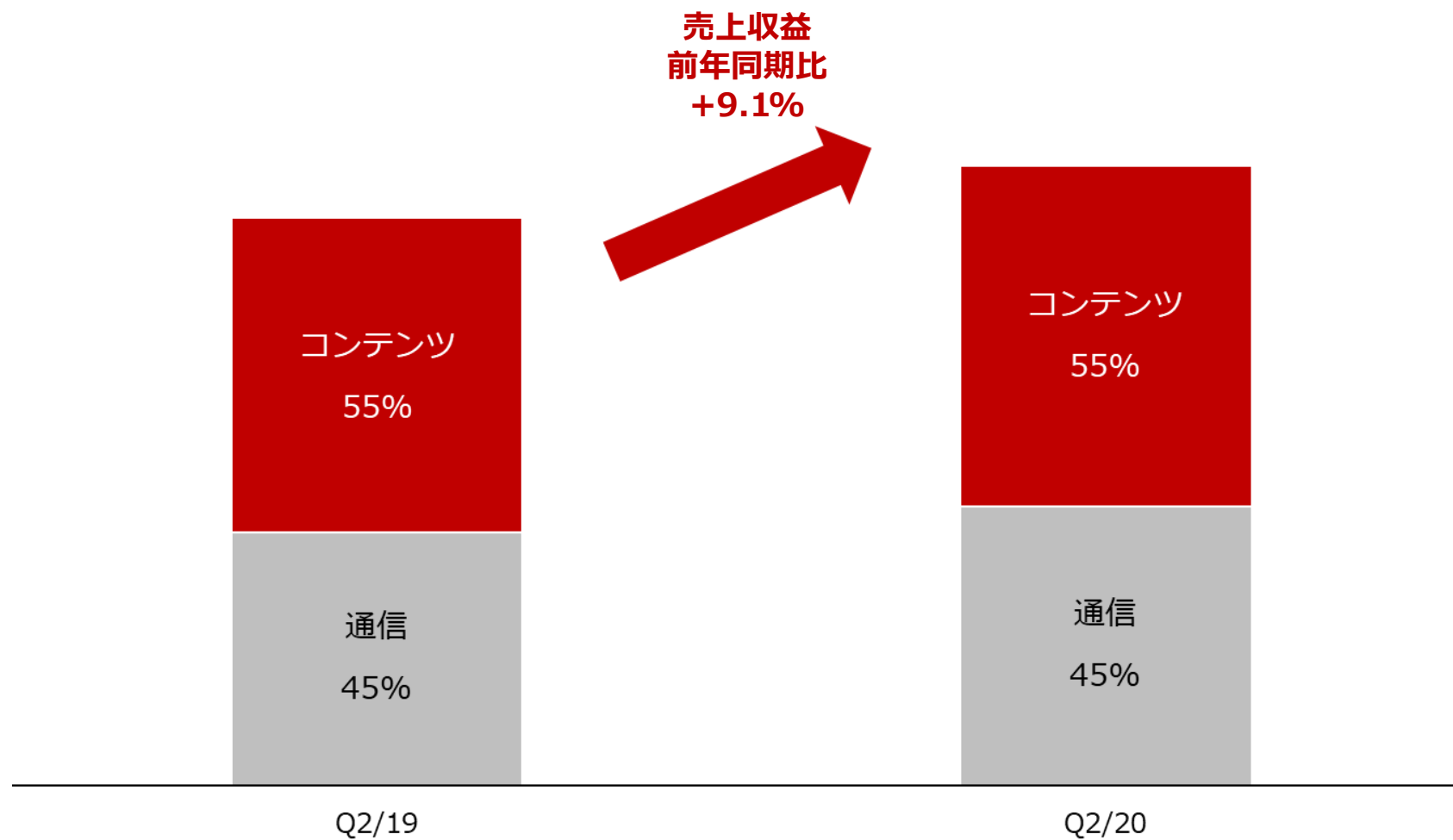
# Viber ユニークID数\*

(単位：百万ID)



\* ユニーク携帯番号登録者数 (解約者を除く)

# Viber 売上収益\*



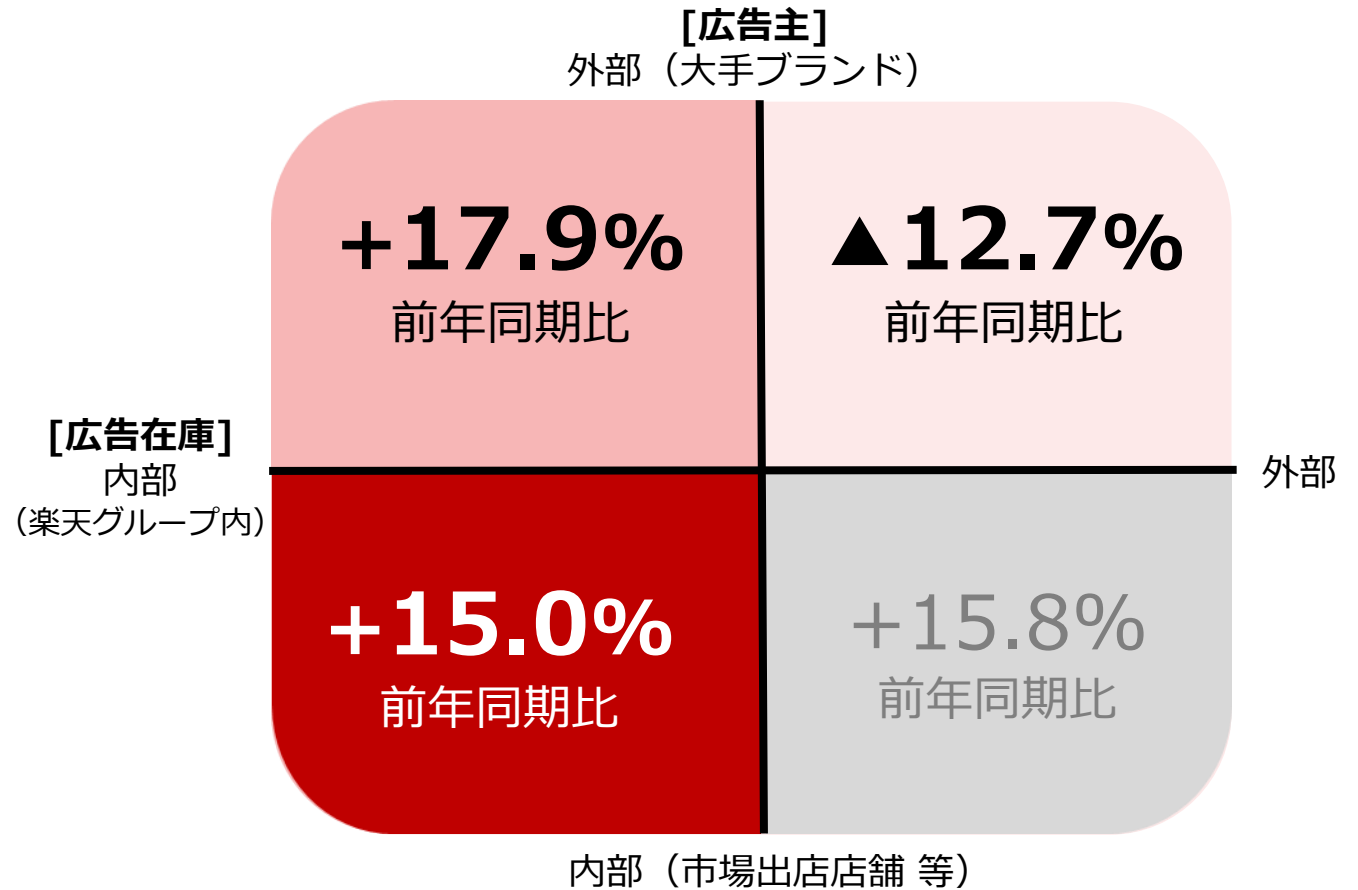
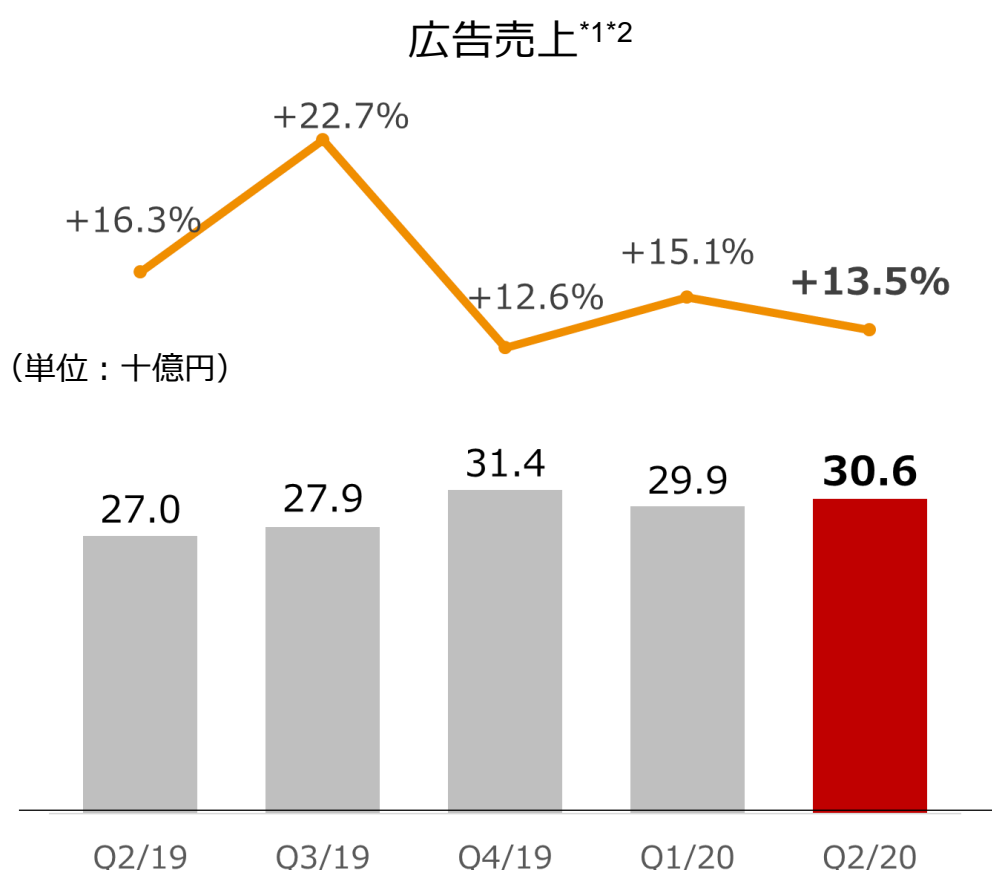
\* Telco: Viber Out, Viber In, SMS. Content: サービスメッセージ、広告、ステッカー等



# 広告事業

# 広告事業：Q2/20 成長率分析

■ 内部広告は好調、外部広告は市況環境や新型コロナウイルスの影響などにより成長が鈍化

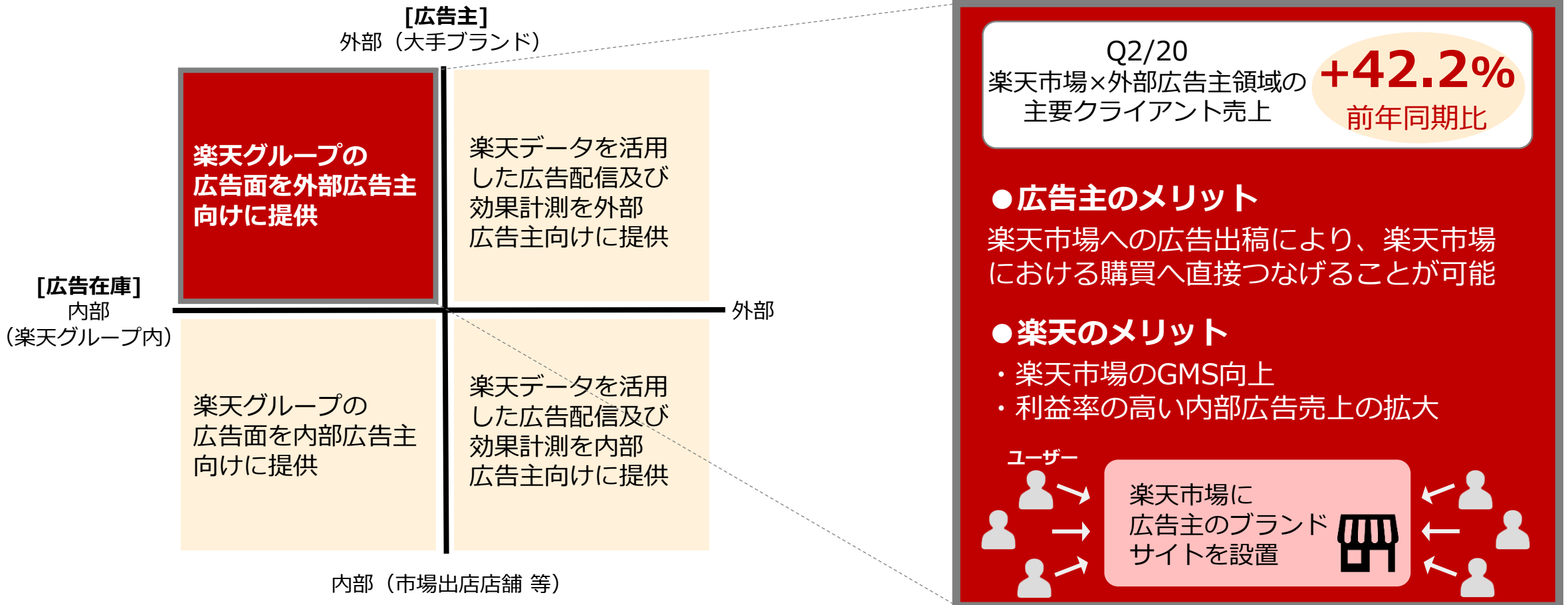


\*1 内部取引含む取扱高

\*2 Q4/19より、一部事業において内部取引消去を行ったため、数値を遡及修正

# 広告事業：内部在庫×外部広告主エリアの拡大

- 楽天市場の好調を受け、内部広告における大手ブランド等外部広告主への営業を強化
- 足元では楽天市場において、大手消費財メーカーなどのオンライン販促活動として広告出稿ニーズが拡大



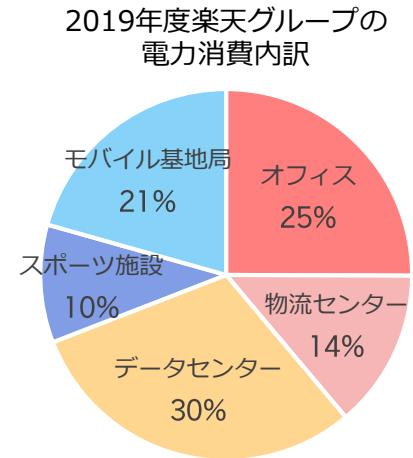
# サステナビリティ

# Q2/20 サステナビリティ報告

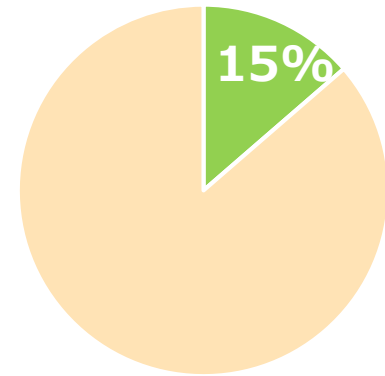
- 2020年6月、楽天はFTSE、MSCIなど主要なESG指数に選定され、当社のガバナンス（役員報酬の開示、汚職防止の取り組み・開示）および気候変動への評価が大幅に向上しました

## 気候変動 - 2019年度 実績

- 2019年12月、楽天は「RE100」に加盟し、2025年までにオフィスやデータセンター、物流センター等の拠点における電力を100%再生可能エネルギーとすることにコミットしています。
- 2019年、楽天株式会社のCO<sub>2</sub>排出量の51.4%が再生可能エネルギー由来となり、グループ全体では15%の再生可能エネルギー由来電力を調達しました。



2019年度楽天グループの再生可能エネルギー由来電力調達状況



2019年は、「楽天市場」、「楽天トラベル」、「楽天スーパーロジスティクス」、「楽天ブックス」、「楽天TV」、「楽ファーム」等を含む10を超える主要なサービスの排出量に相当するCO<sub>2</sub>をオフセットしました。

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

**Rakuten**

The Rakuten logo consists of the word "Rakuten" in a bold, red, sans-serif font. A red horizontal line is positioned below the letters "a", "k", and "u", starting from the left edge of the "a" and extending to the right edge of the "u".